

# 玉里団地住宅28号棟 新築本体工事

図面番号	図 面 名 称	図面番号	図 面 名 称	図面番号	図 面 名 称	図面番号	図 面 名 称
A－01	表 紙，図面リスト	A－31	平面詳細図－1（１DK）	A－61	ユニットバス詳細図	S－01	構造設備標準仕様
A－02	建築工事特記仕様書－1	A－32	平面詳細図－2（２DK）	A－62	外 構 平 面 図	S－02	鉄筋コンクリート 構造配筋標準図（１）
A－03	建築工事特記仕様書－2	A－33	平面詳細図－3（３DK）	A－63	外構部分詳細図－1	S－03	鉄筋コンクリート 構造配筋標準図（２）
A－04	建築工事特記仕様書－3	A－34	平面詳細図－4（２K）	A－64	外構部分詳細図－2	S－04	鉄筋コンクリート 構造配筋標準図（３）
A－05	建築工事特記仕様書－4	A－35	展開図－1（１DK）	A－65	外構部分詳細図－3	S－05	柱 状 図
A－06	建築工事特記仕様書－5	A－36	展開図－2（２DK）			S－06	杭伏図 基礎伏図
A－07	計画概要，敷地求積図，附近見取図	A－37	展開図－3（３DK）			S－07	１階梁伏図 ２，３階梁伏図
A－08	配 置 図	A－38	展開図－4（２K）			S－08	４～6 階梁伏図7～8 階梁伏図
A－09	面積算定図（建築基準法）	A－39	１階建具符号図，法規チェック図			S－09	９階梁伏図，R 階梁伏図
A－10	面積算定図（公営住宅法）	A－40	２，３階，４～9 階建具符号図			S－10	軸 組 図 － １
A－11	日 影 図	A－41	建 具 表 － １			S－11	軸 組 図 － ２
A－12	二方向避難・開放型チェック図	A－42	建 具 表 － ２			S－12	軸 組 図 － ３
A－13	仕上表－1	A－43	１～3 階床組下地伏図			S－13	軸 組 図 － ４
A－14	仕上表－2	A－44	４～8 階床組下地伏図			S－14	軸 組 図 － ５
A－15	地下ピット，１階平面図	A－45	９階床組下地伏図			S－15	軸組図－6，地中梁リスト
A－16	２，３階，４～8 階平面図	A－46	地下ピット，１階天井伏図			S－16	基 礎 リ ス ト
A－17	９階，屋根平面図	A－47	２～8 階天井伏図			S－17	柱 リ ス ト
A－18	立面図－1	A－48	９階天井伏図			S－18	大 梁 リ ス ト
A－19	立面図－2	A－49	部分詳細図－A			S－19	壁，スラブ，小梁リスト，階段配筋図
A－20	断 面 図	A－50	部分詳細図－B			S－20	配 筋 詳 細 図
A－21	矩計図－1	A－51	部分詳細図－C			S－21	Y1通架構配筋図
A－22	矩計図－2	A－52	部分詳細図－D			S－22	X2通架構配筋図
A－23	矩計図－3	A－53	部分詳細図－E				
A－24	矩計図－4	A－54	部分詳細図－F				
A－25	矩計図－5	A－55	部分詳細図－G				
A－26	階段平面詳細図	A－56	部分詳細図－H				
A－27	階段断面詳細図	A－57	EXP．J 詳細図－1				
A－28	断面詳細図－1	A－58	EXP．J 詳細図－2				
A－29	断面詳細図－2	A－59	EXP．J 詳細図－3				
A－30	スロープ廻り詳細図	A－60	EXP．J 詳細図－4				

 株式会社 畠中設計	玉里団地住宅28号棟新築本体工事		
	表紙・図面リスト	A1:1/100 A3:1/200	A-01
	鹿児島市建設局建築部住宅課		

建築工事特記仕様書			適用	特記事項	適用	特記事項
Ⅰ.工事概要						○ 25. ヤンバルトサカヤスデのまん延防止対策について ヤンバルトサカヤスデのまん延を防止するため、当該現場での土壌や植物等の搬出入に当たっては、以下の項目を参考に、十分注意を払うとともに、ヤンバルトサカヤスデの棲息が確認された場合は、棲息状況等の調査報告書を監督員に提出し、まん延防止対策を講ずること。(※発生地については、鹿児島市ホームページで確認すること。) 1) 原則、土・樹木等は、発生地区からの搬出を極力おさえ、廃棄木材については、産業廃棄物の取扱いが可能な焼却施設にて、焼却処理を行うこと。 2) 工事区域周辺部への拡散防止のため、周辺部に薬物散布等の措置を行うこと。 3) やむを得ず、土・樹木等を発生地区から搬出する場合は、薬剤処理・薫蒸後、搬出を行うこと。 4) 発生地区に搬入した建設機材等は、付着土壌の除去並びに薬剤処理後、搬出を行うこと。 5) 未発生地区においても、発生地区からの土・樹木等の搬入や、建設機材の移動等があった場合は、1)～4)の措置が講じられているかを確認すること。
1. 工事名称 玉里団地住宅28号棟新築本体工事 2. 工事場所 鹿児島市玉里団地三丁目47番 3. 工事種目 (○)新築 ・増築 ・改築 ・その他 ) 4. 工事期間 令和 9 年 3 月 17 日まで						
Ⅱ.建築工事仕様						○ 26. 本工事は公共工事であることを十分認識し、工事の施工に必要な官公署その他への手続きは、速やかに行うとともに、安全管理を含む諸管理に十分留意して作業を行うこと。 ○ 27. 本工事の施工に伴う災害及び公害の防止は、建築基準法、労働安全衛生法、騒音規制法、振動規制法、大気汚染防止法、道路交通法及び建設工事公衆災害防止対策要綱その他関係法令等に従い適切に処理すること。また、必要な届出等は滞りなく行うこと。 ○ 28. 工事現場及びその周囲は危険防止に十分注意し工事を行い、現場周辺の公共物(特に側溝等)の維持管理及び地域住民、通行人への危害防止に万全を期すること。万一事故の起きた場合、受注者が復旧し、又、補償をするものとする。 ○ 29. 工事現場への通行、諸運搬にあたっては、特に現場周辺の住民・通行人及び児童・生徒等への危害防止に万全を期すること。 ○ 30. 工事現場内での火気責任者を定め、火気の取扱いには十分注意すること。 ○ 31. 工事において支障物件がある場合は、その処理方法等は監督員との協議による。 ○ 32. 工事現場の快適な作業環境を確保するため、受注者事務所、監督員事務所、従業員休憩所、便所等は関係法令に従い、適切な材料・構造などのものとする。
○ 1. 図面及び特記仕様に記載されていない事項は、すべて国土交通省大臣官房官庁管轄部監修「公共建築工事標準仕様書」(建築工事編)(令和4年版)、「公共建築改修工事標準仕様書」(建築工事編)(令和4年版)及び「公共建築木造工事標準仕様書」(令和4年版)による。 ○ 2. 特記事項の適用は次のとおりとする。 1) 項目は ○ 印の付いたものを適用する。 2) 特記事項は ○ 印の付いたものを適用する。 ○ 印の付かない場合は、※ 印の付いたものを適用する。 ○ 印と ※ 印の付いた場合は、共に適用する。 3) 特記事項に記載の( )内表示番号は、公共建築工事標準仕様書(建築工事編)の当該項目、当該図、又は当該表を示す。 4) 形状寸法の単位は、特記なきかぎりミリメートルとする。			○ 14. 産業廃棄物収集運搬車に係る表示及び書面備え付けについて 両側面に「産業廃棄物の収集又は運搬に供する運搬車である旨」及び「排出事業者名」を表示するとともに、その運搬車に「産業廃棄物の収集又は運搬の用に供する運搬車であることを証する書面」を備え付けること。 [表示例] 産業廃棄物収集運搬車 ←140ポイント(おおむね縦横50mm)以上の識別しやすい色の文字及び数字 ○株式会社 ←90ポイント(おおむね縦横30mm)以上の識別しやすい色の文字及び数字 なお、産業廃棄物収集運搬許可業者に委託して収集又は運搬させる場合には、別途「廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行規則」に基づく、表示規定によること。 ○ 15. 内装仕上使用する材料等の選定について 1) ホルムアルデヒドを発生する建材については、F☆☆☆☆の規格に適合すること。 ただし、これによりがたい場合は、監督員と協議し、承諾を得ること。 対象となる材料(居室に使用する内装材、並びに、造り付け木製家具) 木質建材(合板、木質フローリング、パーティクルボード、MDF等)、壁紙、ホルムアルデヒドを含む断熱材、接着剤、仕上塗材等 2) クロルピリホスについて クロルピリホスを添加しないこと。 クロルピリホスを添加した材料でないこと。 3) 建築材料の種類、種類、数量、及び面積等について 必要書類等 ア) 施工計画書提出時に、JIS、JASの表示、又は、国土交通大臣認定書の写し等を添付し監督員の承諾を得ること。 イ) 材料搬入時に表示等の確認をし、記録写真を提出すること。 ウ) 工事終了後に、内装仕上部分を写した写真を提出すること。 ※ 塗料は、ホルマリン不検出のもので、水性形のものとする。(水廻り及び湿度の高い箇所を除く) ただし、有機溶剤系塗料を使用する場合は、トルエンやキシレンの放散が極力小さいものとする。 ○ 16. 現場代理人の工事現場への常駐を要しない場合について 1) 現場代理人の工事現場への常駐を要しない場合 現場代理人は現場に常駐し、その運営、取締りを行うこととされているが、以下の要件を満たす場合には、工事請負契約第10条第3項の「工事現場における運営、取締り及び権限の行使に支障がないものとして取り扱うこととする。ただし、いずれの場合にも連絡が常にとれる体制を確保する必要や、現場保全の義務(現場の巡回等)があるため、現場代理人を設置しておくことは必要である。 ア) 契約締結後、現場事務所を設置、資機材の搬入又は仮設工事等が開始されるまでの期間 イ) 工事請負契約書第20条により工事が一時中止されている期間 ウ) 橋梁、ポンプ、ゲート、エレベーター等の工場製作を含む工事であって、工場製作のみが行われている期間 エ) 前3号に掲げる期間のほか、受注者から工事完成の通知があり、完成検査、事務手続、後片付け等のみが残っているなど、工事現場において作業等が行われていない期間 2) 発注者への報告 上記1)の要件を満たす場合は、現場代理人の工事現場における常駐は不要とし、他の工事と兼務することを可能とするが、「工事打合簿」等により、工事現場において作業等が行われていない期間を明確にしておくこと。 17. 現場代理人の兼任について 1) 現場代理人の工事現場への常駐を要しない場合 現場代理人は、請負契約の的確な履行を確保するため、工事現場の運営、取締りのほか、工事の施工及び契約関係事務に関する一事項(請負代金の変更、契約の解除等を除く。)を処理する受注者の代理人であるが、次のア)からウ)の全てを満たし、工事現場における運営、取締り及び権限の行使に支障がないと発注者が認めた場合、工事現場の兼任 を認めるものとする。 なお、専任の主任(監理)技術者と現場代理人を兼務する場合において、専任の技術者配置の特例により他の現場と兼任が認められた工事については、イ)、エ)、ウ)の要件を満たすものとし、兼任できる工事は2件までとする。 ア) 兼任できる工事は3件までとし、それぞれの工事の請負金額が4,500万円未満であること。 イ) 発注者又は監督員と常に携帯電話等で連絡が取れること。 ウ) 兼任する工事は、概ね1時間以内で移動できる範囲 エ) 発注者又は監督員が求めた場合には、工事現場に速やかに向かう等の対応を行うこと。 オ) 兼任する現場代理人は、必ず担当工事現場のいずれかに常駐するとともに、1日1回以上、担当工事現場を巡回し、現場管理等に当たること。 2) 手続き 現場代理人の兼任を行う場合には、兼任(変更)申請書を提出し、発注者の承認を得たのち、必要に応じ、現場代理人等変更通知書により、発注者に通知すること。なお、各々の工事において、発注者に現場代理人の兼任の承認を得ること。 3) 受注者に対する措置請求 安全管理の不徹底や現場体制の不備に起因する事故等が発生した場合、建設工事請負契約書第12条に基づき、受注者に対して、必要な措置措置を取るべきことを請求するものとする。			
Ⅲ.一般事項						○ 33. 本工事の施工に際しては、地場産業育成の立場から、できるだけ市内の専門業者や作業員を活用し、資材についても市内業者から購入し、使用するよう努めること。 ○ 34. 再生資源利用計画書・再生資源利用促進計画書を作成し、施工計画書に含めて提出するとともに、工事現場の見やすいところに掲示(デジタルサイネージによる掲示も可)して公衆の閲覧に供することとし、あわせてインターネットに公表するよう努めるものとする。また、その実施状況を記録した実施書を完成書類に含めて提出するものとする。 ○ 35. 本工事により発生する建設廃棄物のうち、焼却施設及び最終処分場に搬入する産業廃棄物には、産業廃棄物税が課税されるので適正に処理すること。 ○ 36. 暴力団関係者等による不当介入を受けた場合の措置 暴力団関係者等による不当要求又は工事妨害(以下「不当介入」という。)を受けた場合は、断固としてこれを拒否するとともに、その旨を遅滞なく発注者及び警察に通報すること。また、暴力団関係者等による不当介入を受けたことにより工程に遅れが生じた場合は、発注者と協議を行うこと。 ○ 37. 駐車場は建設業者の責任において確保し、周辺道路上への駐車は絶対に行わないこと。 ○ 38. 工事現場隣接家屋について、事前に状況調査(建物の実情)を実施し写真等記録に残すこと。調査範囲は監督員と打合せをすること。また、工事完了後家屋、構造物に被害不具合等の申出があった場合は、速やかな対応をすること。 ○ 39. 本工事に伴いスラブに設ける墨出し用の開口部については、建築基準法を満足する工法で確実に塞ぐこと。 ○ 40. 工事完成写真の仕様について 1) インク、用紙等は普通の使用条件のもとで、5年程度で顕著な劣化が生じないものとする。 2) カラー写真(ネガフィルムタイプ)と電子媒体による写真の混合管理は行わないこと。 3) 完成検査若しくは、工事目的物引渡完了後5年間写真管理に利用した電子媒体を保管すること。
○ 1. 本工事は鹿児島市建設工事請負契約書に基づき、施工するものとする ○ 2. 前払金 ※請求することができる ○令和7年度中に請求すること 3. 中間前払金 1) 請負金額が100万円以上で年度内に完成する工事は、契約時において中間前払金か部分払かのいずれかを選択すること。 なお、契約に当たり部分払をすることを選択した場合には、中間前払金は行わない。 2) 中間前払金を受けるための要件(全て満たすこと。) ア) 請負金額の10分の4の前払金がなされていること。 イ) 工期の2分の1を経過していること。 ウ) 工程表により工期の2分の1を経過するまでに実施するべきものとされている当該工事に係る作業が行われていること。 エ) 既に行われた当該工事に係る作業に要する経費が請負金額の2分の1以上の額に相当するものであること。 3) 中間前払金の割合について 請負代金の10分の2以内とする。ただし、中間前払金を支出した後の前払金の合計額が請負代金の額の10分の6を超えてはならないものとする。 ○ 4. 部分払 部分払については、鹿児島市契約規則による。 ○ 5. 部分払対象品目 工事の出来形部分並びに、工事現場に搬入した工事材料のうち、次の工事に含まれるものは部分払いの対象とする。ただし、監督員の検査に合格したものであって確認写真及び出来高等の確認ができるものに限る。 1.仮設工事 2.土工事 3.地盤工事 4.鉄筋工事 5.コンクリート工事 6.鉄骨工事 7.コンクリートブロックALCパネル・押出成形セメント板工事 8.防水工事 9.石工事 10.タイル工事 11.木工事 12.屋根及びとい工事 13.金属工事 14.左官工事 15.建具工事 16.カーテンウォール工事 17.塗装工事 18.内装工事 19.ユニット及びその他の工事 20.排水工事 21.舗装工事 22.植栽及び屋上緑化工事 ○ 6. 火災保険等 請負契約締結後速やかに次の工事保険に加入し、証券又はこれに代わるもの(保険証券等)の写しを直ちに監督員に提出すること。 保証期間は工期後満21日間(24時)までとする。 ※ 火災保険等(工事目的物及び工事材料(支給材料を含む)等)に生じる損害を填補) (※ 火災等 ※ 工事材料等の盗難等 ・その他( )に対応したものを含むこと。) ※ 請負業者賠償責任保険(工事の施工に伴い第三者に与えた損害を填補) なお、上記の保険内容が含まれる火災保険、建設工事保険、組立保険等でも可とする。 その場合、保険証券等により保険内容が確認できるものであること。 ○ 7 住宅瑕疵担保履行法について 受注者は、「特定住宅瑕疵担保責任の履行の確保等に関する法律」(平成19年法律第66号)に基づき、保険への加入又は保証金の供託を行うものとする。なお、保険加入の場合は、着工前に保険法人に申し込む必要があるのに注意すること。 ○ 8. 契約不適合担保責任検査 契約不適合担保責任(鹿児島市建設工事請負契約書第41条)の確実な履行を図るため、受注者は、契約不適合責任期間の満了前に、受注者の負担で、契約不適合担保責任検査を実施すること。受注者は、発注者から契約不適合担保責任検査実施の通知を受けた場合は、発注者の指定する方法により速やかに契約不適合担保責任検査の実施日及び報告書提出日を回答したうえで、契約不適合担保責任検査を実施し、その結果を報告すること。なお、履行の追完方法は発注者と協議のうえ、実施すること。 ○ 9. 施工体制台帳の提出等 1) 建設工事の一部を下請に付する場合は、施工体制台帳及び添付書類を作成し、工事現場に備え置くとともに、その写しを監督員に遅滞なく(遅くとも下請工事の着手前までに)提出すること。また、施工体制台帳の記載事項又は添付書類に変更があったときは、その都度、当該変更があった年月日を付記して、変更に関する事項について、作成し提出すること。 2) 工事を施工するために、建設工事の一部又は以下の各号の業務を下請に付する場合は、施工体系図を作成し、工事の期間中、工事現場の工事関係者が見やすい場所及び公衆の見やすい場所に掲示するとともに、その写しを監督員に遅滞なく(遅くとも下請工事の着手前までに)提出すること。また、施工体系図の記載事項に変更があったときは、その都度、変更に関する事項について、作成し提出すること。 (1)伐採及び測量・調査等の工事現場で作業を行う業務 (2)土砂やコンクリート殻等の運搬のみを行う業務 (3)工事現場の警備(交通誘導を含む)を行う業務 (4)その他監督職員が記載を指示した業務等			○ 18. 低入札価格調査に基づく措置について 低入札価格調査基準価格未満の価格での受注者に対しては、次に掲げる措置を講じるものとする。 1) 施工体制の強化 ア) 低入札価格調査の対象となった工事(以下「調査対象工事」という。)には、専任の主任技術者等を配置すること。 イ) 調査対象工事を施工する場合において、契約日の属する年度及びその前年度に完成した工事に関し、次のいずれかに該当する場合は、配置すべき主任技術者又は監理技術者とは別に、同等の要件を満たす技術者を専任で1人配置すること。 a) 65点未満の工事成績評定を通知された場合 b) 工事請負契約書に基づき修補又は損害賠償を請求された場合 c) 品質管理・安全管理に関し、指名停止又は書面による警告・注意の喚起を受けた場合 d) 自らに起因して工期を大幅に遅らせた場合 2) 監督体制の強化 ア) 受注者は、施工体制台帳を提出し、その内容についてのヒアリングを求められたときはこれに応じなければならない。 イ) 受注者は、特記仕様書に基づく施工計画書を提出し、その内容についてのヒアリングを求められたときはこれに応じなければならない。 ○ 19. 「快適トイレ」の試行について 1) 本工事は、建設現場における「快適トイレ」設置の試行対象工事である。 2) 受注者は積極的に快適トイレの試行に取り組むこと。 3) 快適トイレを設置する場合は、「建設現場における「快適トイレ」設置の試行の改定について(令和3年7月26日付け鹿児島市建設局通知)」に基づき行うものとする。 4) 「建設現場における「快適トイレ」設置の試行の改定について(令和3年7月26日付け鹿児島市建設局通知)」は鹿児島市ホームページから入手できる。 ○ 20. 枠組足場の設置について 枠組足場の設置を必要とする場合は、「手すり先行工法に関するガイドライン」(厚生労働省平成21年4月)によるものとする。 なお、これにより難しい場合は、監督員と協議の上、決定することとする。 ○ 21. 交通誘導員について 本工事の交通誘導員の編成人員は、見積問書によるものとするが、交通管理者等との協議の結果、又は現場条件等により変更が生じた場合は別途協議する。 また、受注者は工事着手前に、実施工程に対応した配置予定図と配置予定時間を施工計画書に記載しなければならない。 ○ 22. 地下工事について 地下室等(地下工作物)がある場合等は、周辺地盤や地下水への影響について、建設場所や建物の規模などを考慮した上で観測体制を含めた施工をすること。施工の際は周辺環境に配慮しながら地下水等の観測を行い、異常が生じた場合は必要な措置を行うこと。建設場所毎の事前調査等は事前に打合せを行い遺漏のないようにすること。 ○ 23. 杭打ち・地盤改良工事について 地下水汚濁への影響などについては事前調査を行い(近隣に井戸がある場合や中間に造水層がある場合)、工法について施工計画段階で検討し、施工の際は十分に注意しながら施工を行い異常が生じた場合には必要な措置を行うこと。 ○ 24. 周辺住民への説明等について 工事現場の周辺住民に対しては、事前に十分な工事内容の説明(作業時間、工法、期間等)を行い協力を得られるように努めるとともに、工事期間中は迷惑、紛争等のないように十分注意すること。 (近隣住民から相談・苦情の申立て等があった場合には誠意をもって、速やかに対処すること。)			
○ 10. 環境基本計画 1) 本工事に伴う環境への影響を抑制するため、工事車両通行往復ルートの分別、交通整理員の配置、走行速度の制限、ルートの設定等の対策を講じること。 2) 本工事に使用する建設機械については、原則として、国等による環境物品等の調達の推進等に関する法律第10条第1項に基づく環境物品等調達方針に適合するものを使用すること。 3) 本工事に伴い提出する関係書類については、可能な限り、国等による環境物品等の調達の推進等に関する法律第10条第1項に基づく環境物品等調達方針適合製品又はエコマーク製品、グリーンマーク製品などの環境ラベリング製品を使用すること。 4) 本工事に伴い提出する関係書類については、写真やメーカー提出の資料等、両面印刷では支障を生ずるものは除き、可能な限り、両面印刷とすること。 5) 工事に伴い発生する廃棄物については、缶・ビン、ペットボトル、プラスチック容器類を搬出しやすいような分別ボックスの設置スペース又は分別ヤードを設置するなどして、分別の徹底及びリサイクルに努めること。 ○ 11. 排出ガス対策型建設機械の使用について 本工事において以下の対象機種を使用する場合は、排出ガス対策型建設機械又は「排出ガス浄化装置」装着機械の使用を原則とする。ただし、①リース業者等が対策型建設機械を供給できない場合、②自社で未対策型建設機械を保有し対策型建設機械を使用することが妥当でない場合等は、監督員との協議により、未対策型建設機械を使用してもよいものとする。 (1)バックホウ (2)ホイールローダー (3)ブルドーザ (4)発動発電機 (5)空気圧縮機 (6)油圧ユニット (7)ローラ類 (8)ラフテレーンクレーン なお、排出ガス対策型建設機械又は「排出ガス浄化装置」装着機械の使用の有無を施工計画書に明示すること。 ○ 12. 低騒音型建設機械の使用の原則化について 本工事は「建設工事に伴う騒音振動対策技術指針」(昭和62年建設省経機発第58号)に基づき「低騒音型・低振動型建設機械の指定に関する規定」(平成9年建設省告示第1536号)により指定された低騒音型建設機械の使用を原則とする。 なお、低騒音型建設機械の使用の有無を施工計画書に明示すること。 ○ 13. ダンプトラック等による過積載等の防止について 1) 工用資機材等の積載超過のないようにすること。 2) 過積載を行っている資材納入業者から、資材を購入しないこと。 3) 資材等の過積載を防止するため、資材の購入等に当たっては、資材納入業者等の利益を不当に害することがないようにすること。 4) さし枠の装着又は物品積載装置の不正改造をしたダンプカーが、工事現場に出入りすることがないようにすること。 5) 「土砂等を運搬する大型自動車による交通事故の防止等に関する特別措置法」(以下「法」という。)の目的に鑑み、法第12条に規定する団体等の設立状況を踏まえ、同団体等への加入者の使用を促進すること。 6) 下請契約の相手方又は資材納入業者を選定するに当たっては、交通安全に関する配慮に欠けるもの又は業務に関しダンプトラック等によって悪質かつ重大な事故を発生させたものを排除すること。 7) 1)から6)のことにつき、下請契約における受注者を指導すること。			○ 41. 再生資材(再生クラッシュラン等)については、再資源化施設製造のものを使用すること。 ○ 42. 法定外労災保険の付保等について 1) 法定外の労災保険の付保 本工事において、受注者は法定外の労災保険に付さなければならない。 なお、当該保険契約を締結したときは、その証券またはこれに代わるもの(保険証券等)の写しを直ちに監督員に提出すること。 保証期間は工期後満21日間(24時)までとする。 2) 遮断禁止用器具の使用について 高さが2m以上の作業床がない箇所、または作業床の端・開口部等で囲い・手すり等の設置が困難な箇所における作業については、労働者の危険を防止する手段として、遮断禁止用器具の使用を講じること。 ○ 43. 営繕工事における休休2日試行工事について 1) 本工事は、営繕工事における休休2日試行工事の対象である。 2) 試行に当たっては、「営繕工事における休休2日試行工事実施要領(令和6年5月7日施行)」(以下、「実施要領」という。))」に基づき行うものとする。 3) 実施要領は、鹿児島市ホームページから入手できる。 ○ 44. 電子納品 1) 本工事は、電子納品試行対象工事とする。電子納品とは、「調査、設計、工事などの各業務段階の最終成果を電子成果品として納品すること」をいう。ここでいう電子成果品とは、「鹿児島市電子納品運用ガイドライン(案)【建築・設備編】」(以下、ガイドラインという。))に定める基準に基づいて作成した電子データを目指す。 2) ガイドラインに基づいて作成した電子成果品は電子媒体(CD-R又はDVD-R)で正本1部、副本1部の計2部提出する。電子化しない成果品については従来どおりの取扱とする。電子納品レベル及び成果品の電子化の範囲については、事前協議を行い決定するものとする。 ○ 45. 架空線の防護措置について 架空線の防護措置における防護管設置については、受注者が架空線管理者と協議するものとし、防護管設置の必要があるとされた場合は、監督員と協議により設計変更の対象とする。 ○ 46. 施工体制点検等への協力 請負代金額が4,500万円(建築一式工事は9,000万円)以上の工事においては、「鹿児島市施工体制点検要領」に基づく点検を、また請負代金額が4,500万円(建築一式工事は9,000万円)未満の下請契約においては、(要領の枠組外における「一括下請負に関する確認」を実施する)ので、受注者はこれに協力すること。 ○ 47. 産業廃棄物管理票(マニフェスト)の提出 工事の施工により発生する産業廃棄物については、処分状況等の記録(E票の写し及び産業廃棄物管理票(マニフェスト)総括表)を工事完成図書に添付すること。 なお、工事完了時点で最終処分が完了せず、E票が処分業者より返送されていない場合は、A票、B2票及びD票のうち直近に返送されたものの写しを添付すること。 ただし、この場合においても、最終処分が完了し、E票が処分業者より返送された次第、直ちに同票の写しを提出すること。 電子マニフェストの場合は、受渡確認表の写しを添付すること。			
株式会社島中設計 一級建築士 第145174号 中村 純一			玉里団地住宅28号棟新築本体工事 建築工事特記仕様書 5ー1 鹿児島市建設局建築部住宅課			Aー2
						Ver.R50401



章	項目	特記事項	章	項目	特記事項	章	項目	特記事項																							
1 各章共通事項	○ 1. 適用基準等	○ 建築工事標準詳細図：国土交通省大臣官房官庁営繕部監修(令和4年版) ・敷地調査共通仕様書：国土交通省大臣官房官庁営繕部監修(令和元年版) ・公共建築工事標準仕様書(電気設備工事編)：国土交通省大臣官房官庁営繕部監修(令和4年版) ・公共建築工事標準仕様書(機械設備工事編)：国土交通省大臣官房官庁営繕部監修(令和4年版) ・公共建築改修工事標準仕様書(電気設備工事編)：国土交通省大臣官房官庁営繕部監修(令和4年版) ・公共建築改修工事標準仕様書(機械設備工事編)：国土交通省大臣官房官庁営繕部監修(令和4年版) ・公共建築設備工事標準図(電気設備工事編)：国土交通省大臣官房官庁営繕部監修(令和4年版) ・公共建築設備工事標準図(機械設備工事編)：国土交通省大臣官房官庁営繕部監修(令和4年版) ○ 営繕工事写真撮影要領(平成31年版)・同解説 ○ 工事写真撮影ガイドブック(建築工事及び解体工事編)：国土交通省大臣官房官庁営繕部監修 ・ 営繕工事における工事関係図書等に関する効率化実施方針：国土交通省大臣官房官庁営繕部制定 ・ 営繕工事における工事関係図書等に関する効率化実施要領：関東地方建設局営繕部作成	2 仮設工事	○ 18. 品質計画	建築基準法により定められた風速 $V_0$ (※38・ ) 地面粗度区分 ・Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ 適用工種 ・コンクリートブロック・ALCパネル・押出成形セメント板工事 ・防水工事 ・石工事・屋根及びとい工事・金属工事	6 コンクリート工事	○ 1. 一般事項	コンクリートの類別 ※Ⅰ類・Ⅱ類 気乾単位容積質量による種類 ○普通コンクリート ・ 軽量コンクリート 設計基準強度( $F_c$ ) <table><tr><th colspan="6">普通コンクリートの設計基準強度 <math>F_c</math> (N/mm<sup>2</sup>)</th></tr><tr><th>種別</th><th>15</th><th>18</th><th>21</th><th>24</th><th>27</th><th>30</th></tr><tr><th>部品</th><th colspan="2">土間</th><th>躯体(7-RS)</th><th>躯体(5-7SL)</th><th>躯体(3-5SL)</th><th>躯体(1-3SL)基礎・基礎梁</th></tr></table> 軽量コンクリートの設計基準強度 $F_c$ (N/mm <sup>2</sup> )・15・18・21・24・27・( ) ※ 構造体強度補正值(普通ポルトランドセメント) その他のセメント種類は(表6. 3. 2)による コンクリート打込みから材齢28日までの予想平均気温 $\theta$ の範囲(℃) $0 \leq \theta < 8$ $8 \leq \theta$ <table><tr><td>構造体強度補正值(N/mm<sup>2</sup>)</td><td>6</td><td>3</td></tr></table>	普通コンクリートの設計基準強度 $F_c$ (N/mm <sup>2</sup> )						種別	15	18	21	24	27	30	部品	土間		躯体(7-RS)	躯体(5-7SL)	躯体(3-5SL)	躯体(1-3SL)基礎・基礎梁	構造体強度補正值(N/mm <sup>2</sup> )	6	3
	普通コンクリートの設計基準強度 $F_c$ (N/mm <sup>2</sup> )																														
	種別	15		18	21		24	27	30																						
	部品	土間		躯体(7-RS)	躯体(5-7SL)		躯体(3-5SL)	躯体(1-3SL)基礎・基礎梁																							
	構造体強度補正值(N/mm <sup>2</sup> )	6		3																											
	○ 2. 電気保安技術者	※適用する (1. 3. 3)																													
	○ 3. 施工条件	(1. 3. 5)																													
	○ 4. 技能士	○ 鉄筋施工(鉄筋組立作業) ○ コンクリート圧送施工 ○ 型枠施工 ○ とび ・ブロック建築 (1. 5. 2) ・ 鉄工 ・ 構造物鉄工作業 ・ 製缶作業) ・ エーメル・パネル施工 ・ 石材施工(石張り作業) ○ 防水施工( ・ ウレタンゴム系塗膜防水工事業業 ○ シーリング防水工事業業 ・ 合成ゴム系シート防水工事業業 ・ アスファルト防水工事業業 ・ アクリルゴム系塗装防水工事業業) ・ タイル張り ○ 建築大工 ・ かかわぶき ・ 建築板金(内外装板金作業) ○ 左官 ○ サッシ施工 ○ カラス施工 ・ カーテンウォール施工 ○ 建具製作( ○ 木製建具 手加工作業 ・ アルミ製室内建具製作作業 ・ 木製建具 機械加工作業) ○ 内装仕上げ施工( ○ ボード仕上げ工事業業 ・ 鋼製下地工事業業 ・ プラスチック系床仕上げ工事業業 ・ カベット系床仕上げ工事業業) ○ 塗装(建築塗装作業) ・ 畳製作 ・ 表装 ・ 造園 ・ 熱絶縁施工(吹付硬質ウレタンフォーム断熱工事業業) ・ 樹脂接着剤注入施工																													
	○ 5. 工事実績情報の登録	受注者は、受注時又は変更時において工事請負代金額が500万円以上の工事について、 工事実績情報システム(CORINS)に基づき、受注・変更・完成・訂正時に工事実績情報として「通知書」を作成し 監督員の確認を受けたうえ、受注時は契約後10日以内に、登録内容の変更時は変更があった日から10日以内 に、完成時は工事完成後10日以内に、(一財)日本建設情報総合センターに登録しなければならない。 また、登録完了後は、(一財)日本建設情報総合センター発行の「登録内容確認書」を、監督員に提出しなければなら ない。なお、変更時と完成時の間が10日間に満たない場合は、変更時の提出を省略できるものとする。 (ただし、期間には、行政機関の休日に関する法律(昭和63年法律第91号)に定める行政機関の休日は含まない) 本工事に使用する建築材料等のうち、特定のものが特記された場合は、設計図書に規定するもの又はこれらと 同等のものとする。ただし、同等のものとする場合は、監督員の承諾を受ける。なお、「評価名簿による」と特記さ れたものについては、国土交通省大臣官房官庁営繕部監修「建築材料・設備機材等品質性能評価事業建築材料 等評価名簿(最新版)」による。また、評価を受けたものを使用する場合は、評価書の写しを監督員に提出し、その 確認をもって、品質・性能の確認があったものとして行うことができる。																													
	○ 6. 建築材料等	建築工事共通仕様書に記載されていない特別な材料の工法は、当該製品の指定工法による。																													
	○ 7. 特別な材料の工法	建設副産物の処理 1. 本工事より発生する建設副産物については、再生資源の活用を行うことを原則とし、「廃棄物処理法」、「資 源の有効な利用の促進に関する法律」(リサイクル法)、「建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律」(建 設リサイクル法)、「建設工事公衆災害防止対策要綱」及び「建設副産物適正処理推進要綱」を遵守するととも に、マニフェストシステムにより適正処理を行うこと。 2. 建設発生土及び建設廃棄物にあたっては、建設副産物適正処理推進要綱や関係法令を遵守すること。 3. 建設発生土及び建設廃棄物処理に起因する災害及び苦情については、受注者の責任において処理すること。 4. 建設廃材処分場は、不燃物は最寄りの処分場、可燃物は最寄りの焼却施設とする。 5. 建設廃棄物のうち、再生資材として有効利用できるコンクリート・アスファルト塊、金属くず、木くず等については、最 寄りの再資源化施設(許可を受けた施設)へ搬出すること。 6. マニフェスト(管理票)の備考欄にせっこうボードの有無を明記するとともに、せっこうボードが含まれている場合 は製造会社名等を明記すること。 7. 特別管理産業廃棄物の種類及び処理方法は図示による。																													
	○ 8. 発生材の処理等	施工図等の著作権に係る当該建築物に限る使用权は、発注者に移譲するものとする。 施工範囲 図示した鉄筋コンクリート梁の貫通孔及び鉄筋コンクリート部で、補強を必要とする貫通孔、開口部の補強、 壁、天井の仕上材、下地材の補強、駆動装置が電動による建具類の2次配線及び操作スイッチ並び に自動開閉装置取付け箇所切込み及び補強は標準詳細図などのとおりとし、本工事とする。 なお、細部については監督員と協議する。 施工図 設備機器の位置、取合いなどの検討のできる施工図を提出して、監督員の承諾を受ける。																													
	○ 9. 施工図等の取扱い	○ 完成図等を提出する。 (1) 電子データ i) データ提出媒体:「CD-R」又は「DVD-R」とする。 ii) データ保存形式: CADデータ(国土交通省の「官庁営繕事業に係る電子納品運用ガイドライン【営繕業務 編】」のCADデータ交換標準に対応したもの)及び画像データ。 ただし、原則に依りがたい場合は、事前に監督員の承諾を得るものとする。 (2) 2つ折製本(A3判)2部を監督員に提出する。装丁や文字の仕上がりについては監督員と協議。 ・ 保全に関する資料 部数1部(監督員の指定する様式) ○ 取扱い説明書 部数56部(建設戸数+2戸分)																													
	○ 10. 設備工事との取合い	区分 分類 規格 撮影枚数 部数 原画の大きさ 備考 ※ 着工前 ※ カラー ※ L版程度 ※ 1部 24×36以上 ※ 工事中 ※ カラー ※ L版程度 ※ 1部 24×36以上 ※ 完成時 ※ カラー ※ L版程度 枚 ※ 1部 ・ 60×90以上 外観4面 ・ キャビネ版 ・ 24×36以上 主要内部																													
	○ 11. 完成図等	竣工写真は下記業者の撮影とし、箇所及び方法については監督員の指示による。 撮影業者 ※ 監督員の承諾する撮影業者(ただし、建築竣工写真撮影の実績のある業者とする。) ・ 完成後(解体工事の場合は、着工前及び完成後)の航空写真及びその電子データを提出すること。 撮影業者 ※ 監督員の承諾する撮影業者(ただし、建築竣工写真撮影の実績のある業者とする。)																													
○ 12. 工事写真	工事中、取合部その他本工事範囲外の部分に汚損又は損傷した場合は監督員に報告するとともに承諾を受け て現状に準じて補修する。 揮発性有機化合物の室内濃度を測定し、厚生労働省が定める指針値以下であることを確認し、報告すること。 また、指針値を上回った場合は、引渡しをするまでの間、換気の繰り返し又はベークアウト等により濃度の低下に 努め、指針値以下になるようにすること。なお、住宅については「住宅の品質確保の促進等に関する法律」 の評価方法基準第5の6-3の(3)の定めにより測定等を行うこと。 測定対象 ○ 住宅 (建設戸数の1割以上(10戸未満の場合は1戸以上)で、各住戸2室以上) ・ 非住宅 (測定対象( )) 測定項目 ○ 5項目(ホルムアルデヒド、トルエン、キシレン、エチルベンゼン、スチレン) ・ 6項目(上記5項目及びバランスクロヘンゼン)																														
16. 部分使用	・ 有 (部分使用の場所等)																														
17. 指定部分	・ 有 (範囲、時期については監督員の指示による)																														
3 鉄骨工事	○ 1. 鉄筋の種類	※JISG3112 ・ JIS3117 種類 の 記 号 呼 び 名 (mm) ○ SD295 D16以下 ○ SD345 D19以上 ○ SD390 D29以下 ・ ○ 高強度せん断補強筋(建築基準法第37条認定を受けたもの、種別、使用部位、加工:(1275N/mm <sup>2</sup> ) ※ 図面による																													
	○ 2. 溶接金網	・ 鉄線の形状、網目寸法及び鉄線の径: ※ 図示による																													
	○ 3. 継手及び定着	柱及び梁の主筋 ( ※ D19以上 ・ ) ・ 重ね継手 ※ ガス圧接 その他の鉄筋 ( ※ D16以下 ・ ) ※ 重ね継手 ・ ( )																													
	○ 4. 鉄筋のかぶり厚さ及び間隔	かぶり厚さは目地底から算定する。 ※(表5. 3. 6)による ・ 構造特記仕様書による ○ 図示による ・ 耐久上不利な箇所及び鉄筋のかぶり厚さ <table><tr><th>施 工 箇 所</th><th>鉄筋のかぶり厚さ(mm)</th></tr><tr><td></td><td></td></tr></table>	施 工 箇 所	鉄筋のかぶり厚さ(mm)																											
	施 工 箇 所	鉄筋のかぶり厚さ(mm)																													
	○ 5. 帯筋	形の種別 ○ H形 ○ W-1形 ○ SP形(スパイラル筋) ・ 丸形 (別図2. 2)																													
	○ 6. 最上階柱頭補強	※ 行う ・ 行わない																													
	○ 7. 壁開口部の補強	一般 壁 ・ A形 ※ B形 ・ 図示 (別図4. 3)(表4. 3)(表4. 4) 耐震 壁 ※ B形 ・ 図示																													
	8. 土間コンクリート補強	補強箇所 ・ 土間 ・ 犬走り ・ ( )																													
	○ 9. 梁貫通孔の補強形式	補強形式 ※ H形 ○ 図示による (別図7. 1)(表7. 1～3)																													
	○ 10. 圧接完了後の試験	検査方法 ・ 引張試験 ※ 超音波探傷試験 ※ 外観試験																													
	○ 11. 各部配筋	図示のないものは、各部配筋参考図による。																													
	1. 鉄骨製作工場	※ 製作工場 (グレード ・ H ・ M ・ R ・ J ・ 指定なし) 施工管理技術者 ※ 適用する ・ 適用しない																													
	2. 材料	鋼材 種類 の 記 号 使 用 箇 所 規 格 等 SS400 図面による ※ JIS規格 ※ JIS規格 ※ JIS規格 ※ JIS規格 ※ JIS規格 高力ボルト (7. 2. 2) ※ トルシア形高力ボルト(セットの種類2種(S 10 T)) ・ JIS形高力ボルト(セットの種類2種(F 10 T)) ・ 溶融亜鉛めっき高力ボルト(セットの種類1種(F 8 T相当)) 径 ( ) 普通ボルト (7. 2. 3)(表7. 2. 3) ボルト(※ 六角ボルト ・ ) ナット(※ 六角ナット ・ ) ボルト径 ( ) アンカーボルト (7. 2. 4) 構造用材質 ( ※ SNR400 ・ ) 建方用材質 ( ※ SS400 ・ ) 形状及び寸法 ( ) ターンバックル (7. 2. 6) ターンバックル胴の種類: ※ 割替式 ・ ( ) ターンバックルボルトの種類: ※ 羽子板ボルト ・ ( ) デッキプレート (7. 2. 7) 構造用材質 ( ) 形状及び寸法 ( ) スタッド (7. 2. 8) 種類 ( ) 柱底均しモルタル (7. 2. 9) ・ 無収縮モルタル(製造所:評価名簿による) スラップ (7. 2. 10) ※ 改良型(国土交通省大臣官房官庁営繕部「建築鉄骨設計基準」別図3. 11) ・ ( ) 材料試験 ※ 規格品証明書を提出																													
3. 工作一般	仮組 ・ 実施する ※ 実施しない 高力ボルト及び普通ボルトのゲージ、ピッチ、ヘリあき等(国土交通省大臣官房官庁営繕部「建築鉄骨 設計基準」による)																														
株式会社 島中設計 鹿児島市清水町13番22号 〒892-0802 TEL(099)247-7575 一級建築士 登録第145174号 中村 純一																															
玉里団地住宅28号棟新築本体工事																															
建築工事特記仕様書 5-2																															
鹿児島市建設局建築部住宅課																															
A-3																															
Ver.R50401																															



7  
鉄  
骨  
工  
事

4. 溶 接 接 合

開先形状(国土交通省大臣官房官庁営繕部「建築鉄骨設計基準」による)  
・ L形 ( K形 ) ( 7. 6. 4 )  
余盛り高さ ※ 鉄骨精度検査基準による ( ) ( 7. 6. 7 )  
・ 鋼製エンドタブを切断する箇所及び範囲 ( )  
溶接部の試験 ( 7. 6. 12 )  
※ 外観試験  
(a)( )  
(b)( )  
※ 超音波探傷試験 ※行う  
AOQL(工場溶接) ※ 4.0% ・ 2.5%  
検査水準 ※第6水準 ( )

5. 錆 止 め 塗 装

耐火被覆材の接着する面の塗装範囲( ) (7. 8. 2)  
耐火被覆材の接着する面以外の塗装範囲( )  
種別 鋼製スリープ内面( ※ A種 ・ B種 ) (7. 8. 4)(表18. 3. 1)  
耐火被覆材の接着面 ( ) (7. 8. 4)

6. 耐 火 被 覆

種類 ( ) (7. 9. 2)  
材料 ( )  
工法 ( )  
耐火性能( ) (7. 9. 3)

7. 工 事 現 場 施 工

建方精度 ※ 鉄骨精度検査基準による ( ) (7. 10. 2)  
アンカーボルト ・ 構造用アンカーボルト 形状( ) 寸法( ) (7. 10. 3)  
・ アンカーフレーム 形状( ) 寸法( )  
・ 建方用アンカーボルト  
保持及び埋込工法( ・ A種 ※ B種 ・ C種 ) (表7. 10. 1)  
柱底均しモルタル工法 工法(※A種・B種) 厚さ( ) (7. 11. 2)

8. 軽 量 形 鋼

ボルト接合 ※ 普通ボルト接合 ( ) (7. 12. 4)(表14. 2. 2)

9. 溶 融 垂 鉛 め っ き 工 法

垂鉛めっき (7. 12. 4)(表14. 2. 2)  
垂鉛めっき種別 材 料 適用部位  
A 種 最小板厚6.0mm以上の形鋼、鋼板類  
B 種 最小板厚3.2mm以上、6.0mm未満の形鋼、鋼板類  
C 種 最小板厚1.6mm以上、3.2mm未満の形鋼、鋼板類  
普通ボルト・ナット類及びアンカーボルト類  
高力ボルト接合摩擦面 ・ プラスト処理 ( ・ ) (7. 12. 5)

8  
コ  
ン  
ク  
リ  
ー  
ト  
ブ  
ロ  
ッ  
ク  
工  
事

1. 補 強 コ ン ク リ ー ト  
フ ロ ッ ク 造

ブロックの種類 ( ) (8. 2. 2)  
モジュール呼び寸法( )  
正味厚さ ( )  
各部の配筋 ※図示による (8. 2. 5)

2. コ ン ク リ ー ト  
フ ロ ッ ク  
帳 壁 及 び 堀

ブロックの種類 ※表8. 3. 1 (8. 3. 2)  
配筋 (8. 3. 4)  

縦 筋	横 筋	開口補強筋(縦横)	端部補強筋
D10－400@	D10－400@	1－D13	1－D13

3. A L C パ ネ ル

壁鉄筋の継手( ) 定着( ) 末端部折り曲げ形状( )  
区分( )単位荷重( )厚さ( )幅( )長さ( ) (8. 4. 2)  
耐火性能( )  
外壁パネル構造 構法の種別:(・ A種 ・ B種)工法( )目地幅( ) (8. 4. 3)  
耐火目地材( )

4. 押 出 成 形 セ メ ン ト 板

種類( )形状( )厚さ( )幅( ) (8. 5. 2)  
外壁パネル工法 工法の種別:(・ A種 ・ B種)工法( )目地幅( ) (8. 5. 3)  
間仕切壁パネル工法 工法の種別:(・ B種 ・ C種) (8. 5. 4)

9  
防  
水  
工  
事

1. 合 成 高 分 子 系  
ル ー フ ィ ン グ シ ー ト 防 水

工 程 種 別	適 用 箇 所	仕 上 げ 塗 料 塗 り	厚 さ
・ S－F1		・ カラー ・ シルバー	※ 1.2mm ・
・ S－F2			※ 1.5mm ・
・ S－M1		・ カラー ・ シルバー	※ 1.5mm ・
・ S－M2			※ 1.5mm ・

  
機械的固定方法 建築基準法に基づく風圧力に対応した工法とし監督員の承諾を受けること (9. 4. 4)  
可塑性移行防止用シート ※ 発泡ポリエチレンシート ( )

2. 塗 膜 防 水

ウレタンゴム系塗膜防水 (9. 5. 3)(表9. 5. 1～2)  

工 程 種 別	施 工 箇 所	備 考
・ X-1 (絶縁工法)	※ 屋根	
・ X-2 (密着工法)	※ 屋根	

  
ゴムアスファルト系塗膜防水  

工 程 種 別	施 工 箇 所	備 考
・ Y-1	地下外壁	
・ Y-2	屋内	保護層 ・ 適用する ・ 適用しない

○ 3. シ ー リ ン グ

シーリングの種類は、表9. 7. 1による (9. 7. 2)(表9. 7. 1)  
目地寸法 ※ 9. 7. 3(1)(7～ウ) ○ ( 流し台廻り:10×7 ) (9. 7. 3)  
接着性試験 ※ 簡易接着性試験 ・ 引張接着性試験 (9. 7. 5)

○ 4. 屋 根 コ ン ク リ ー ト 防 水

屋上等の活性進化防水剤入りコンクリートタンピング金ごて押え(防水剤は6章 コンクリート工事による)

5. 保 証 書 及 び 期 間

防水工事の施工については、10年保証書を提出すること。  
なお、保証書は、受注者と施工業者の連帯とする(シーリングを除く)。  
保証書の必要な防水工事の施工業者は建設業法の許可業者とする。

10  
石  
工  
事

1. 共 通 事 項

石の割付け ( ・ ) ・ 図示による (10. 1. 3)  
石材の加工  
粗面仕上げの場合 ・ 監督員と協議 ・ 図示による  
ワックスの使用 ・ 使用する ・ 使用しない (10. 1. 5)

2. 材 料

セラゾ  
種類及び大きさ ※ 大理石(1.5～12mm) ( ・ )  
セラゾブロック 形状 ・ 平物 ・ 役物  
仕上げ面 ・ 片面 ・ 両面  
寸法 ( 図示による )  
表面仕上げ ・ 粗磨き ・ 水磨き ・ 本磨き (10. 2. 1)

章 通 則

1. 共 通 事 項

伸縮調整目地及びびり割れ誘発目地 (11. 1. 3)  
位置 外壁( ※ 表11. 1. 1 ・ 図示による ) 屋内 ( ・ )  
寸法 ※ 9. 7. 3 ( ・ )

2. 施 工 後 の 確 認 及 び 試 験

※ 外観の確認 ※ 打診による確認 ・ 引張接着試験 (11. 1. 7)

3. 材 料

タイルの種類 (11. 2. 2)(11. 3. 2)  

施工箇所	形状・寸法	耐凍害性	耐滑り性	役物	色
		・ 有 ・ 無	・ 有 ・ 無	・ 有 ・ 無	・ 標準 ・ 特注
		・ 有 ・ 無	・ 有 ・ 無	・ 有 ・ 無	・ 標準 ・ 特注
		・ 有 ・ 無	・ 有 ・ 無	・ 有 ・ 無	・ 標準 ・ 特注
		・ 有 ・ 無	・ 有 ・ 無	・ 有 ・ 無	・ 標準 ・ 特注

  
製造所 ( 監督員の承諾を得るものとする。 )  
タイル試験張り ( ・ 実施する ・ 実施しない ) タイル見本焼き ( ・ 実施する ・ 実施しない )

4. セメントモルタルによる  
タ イ ル 張 り

・ 既調合モルタル( ) (11. 2. 3)  
・ 下地及びタイルごしらえ ( ・ MCR工法 ・ 目荒し工法(高圧水洗) ) (11. 2. 7)(表11. 2. 3)  
タイル張りの種別 ( ・ ) ( )  
工法 ( ) ( ・ ) ( )

5. 有 機 系 接 着 剤  
に よ る  
タ イ ル 張 り

・ 外装タイルにおける目地詰め ( ・ 行う ・ 行わない ) (11. 3. 3)  
・ 下地及びタイルごしらえ ( ・ MCR工法 ・ 目荒し工法 ) (11. 3. 5)

○ 1. 材 料

木材  
木材については、市内で生産・加工された木材の使用に努めること。市内産材の確保が難しい場合でも、可能な限り県産材の使用に努めること。  
・ 地域産材の場所 ( )地域  
ただし、次の部位については「認証かごしま材」又は「認証かごしま材」と同等の基準を満足している市内産材を使用すること。  
なお、「認証かごしま材」同等材の使用にあたっては、下記の条件を満足したものとする。  
ア. 認証かごしま材の品質(乾燥、寸法、面材品質)と同等の基準を満足している旨及び原木の生産地を記載した旨の出荷証明書が添付されたもの  
イ. 監督員の立会い検査により、上記アの品質が確認されたもの  
指定部分 ・ 構造材全て ・ その他( ・ )  
含水率 構造材 ※ 20％以下とする。  
下地材 ※ A種 ・ B種  
造作材 ※ A種 ・ B種  
製材  
「JAS1083」による製材  
下地用針葉樹製材 樹種、等級、寸法、形状、含水率、保存処理及び材面の品質 ・ 図示による  
等級 ・ 図示による ※ 2級  
造作用針葉樹製材 樹種、寸法、等級、形状、含水率、保存処理及び材面の品質 ・ 図示による  
板類における等級 ※ 枠、額縁、敷居、かもし、かまちの類の見え掛り面は上小節、それ以外は小節以上  
・ 図示による  
広葉樹製材 樹種、寸法、保存処理及び材面の品質 ・ 図示による  
等級 ※ 1等 ・ 図示による ( ・ )  
含水率 ※ 10％以下 ・ 図示による ( ・ )  
「JAS1083」以外の製材  
下地、造作及び仕上げに用いる製材 樹種、寸法、材面の品質、含水率及び防虫処理 ・ 図示による  
造作材の材面の品質の基準 ※ A種 ・ B種 (表12. 2. 2)  
造作用集成材  
「集成材のJAS」による造作用集成材  
造作用集成材 品名、樹種、見付け材面数、寸法 ・ 図示による  
見付け材面の品質 ※ 1等 ・ 図示による  
化粧ばり造作用集成材 品名、樹種、化粧薄板の厚さ、見付け材面数、寸法 ・ 図示による  
見付け材面の品質 ※ 1等 ・ 図示による  
化粧ばり構造用集成柱 品名、樹種、化粧薄板の厚さ、寸法、見付け材面の品質 ・ 図示による  
「集成材のJAS」以外の造作用集成材  
造作用集成材 樹種、寸法、見付け材面の品質 ・ 図示による  
含水率 ※ 15％以下 ・ 図示による ( ・ )  
化粧ばり造作用集成材 樹種、寸法、化粧薄板の厚さ、見付け材面の品質 ・ 図示による  
含水率 ※ 15％以下 ・ 図示による ( ・ )  
化粧ばり構造用集成柱 樹種、寸法、見付け材面の品質、化粧薄板の厚さ ・ 図示による  
含水率 ※ 15％以下 ・ 図示による ( ・ )  
造作用単板積層材  
「JAS0701(単板積層材)」に基づく造作用単板積層材  
品名、寸法、表面の品質及び防虫処理 ・ 図示による  
「JAS0701(単板積層材)」以外の造作用単板積層材  
寸法、表面の品質及び防虫処理 ・ 図示による  
含水率 ※ 14％以下 ・ 図示による ( ・ )  
JAS3079 (直交集成板) 品名、曲げ強度、種別、接着性能(使用環境)、樹種及び寸法 ・ 図示による  
合板等  
下地用普通合板 品名、単板の樹種名、防虫処理 ・ 図示による  
厚さ ※ 5. 5mm ・ 図示による 接着の程度 ※ 1類 ・ 図示による  
板面の品質 ※ 2等以上(広葉樹) ※ C－D以上(針葉樹) ・ 図示による  
下地用構造用合板 品名、単板の樹種名、保存処理、防虫処理、強度等級 ・ 図示による  
厚さ ※ 12mm ・ 図示による  
接着の程度 ※ 1類(湿潤箇所を除く) ※ 特類(湿潤箇所) ・ 図示による  
等級 ※ 2級以上 ( ・ )  
板面の品質 ※ C－D以上 ・ 図示による  
化粧ばり構造用合板 品名、厚さ、単板の樹種名、接着の程度、防虫処理 ・ 図示による  
湿潤状態となる場所に使用する場合の接着の程度 ・ 図示による  
天然木化粧合板 厚さ、接着の程度、化粧板に使用する単板の樹種名、防虫処理 ・ 図示による  
特殊加工化粧合板 品目、厚さ、接着の程度、単板の樹種名、化粧加工の方法、防虫処理 ・ 図示による  
パーティクルボード 表表面の状態による区分、難燃性による区分及び厚さ ・ 図示による  
曲げ強さによる区分、耐水性による区分、厚さ  
※ 厚さ15mm、曲げ強さ13タイプ、耐水性MR1(M)又はMR2(P)タイプ  
構造用パネル 品名、厚さ ・ 図示による  
M D F 表表面の状態による区分、曲げ強さによる区分、接着剤による区分 ・ 図示による  
難燃性による区分、厚さ ・ 図示による  
接合具等 (12. 2. 2)  
造作材の化粧面の釘打ち ※ 隠し釘打ち ・ 釘頭埋め木 ・ つぶし頭釘打ち ・ 釘頭現し  
諸金物の形状、寸法、材質 ※ 12. 2. 2(2)(ア)による ( ・ ) ・ 図示による

章 通 則

○ 2. 防 腐 ・ 防 蟻 ・ 防 虫 処 理

しろあり防除工事  
鹿児島県土木部建築課監修 鹿児島県しろあり防除工事特記仕様書により、社団法人日本しろあり対策協会鹿児島県支所登録施工業者が施工する。(使用薬剤は、非有機リン系薬剤とする)  
土壌処理 ※ 行う(範囲 建物水平投影面 ) ・ 行わない  
木材処理 ※ 行う(範囲:各階のFL+1m以下の下地材(合板等除く) ) ・ 行わない  
防腐・防蟻処理 ・ 薬剤の加圧注入による防腐 ・ 防蟻処理 (12. 3. 1)  
○ 薬剤の塗布等による防腐 ○ 防蟻処理  
防虫処理 ○ 行う ・ 行わない (12. 3. 2)  
土壌処理、木材処理共に行った際は、受注者と白蟻防除工事施工業者連帯の5年保証書を提出する。  
木材処理のみを行った際は、白蟻防除工事施工業者による施工証明書を提出する。 (12. 4. 1)

○ 3. RC造等の内部間仕  
切 軸 組 及 び 床 組

木材  
間仕切軸組に用いる製材 ・ 杉 ・ 松 ○ ( 図示 )  
床組に用いる製材(土間スラブ類の土台、転ばし根太) ○ ひのき ・ 保存処理木材 ( ・ )  
床組に用いる製材(上記以外) ○ 杉 ・ 松 ( ・ )

○ 4. 窓、出入口その他

木材 窓、出入口、その他に用いる製材 吊元枠、水掛りの下枠、敷居 ※ ひのき ( ・ ) (12. 5. 4)  
その他 ・ 松 ※ 杉 ( ・ )

○ 5. 床 板 張 り

木材  
縁甲板、上がりがまちに用いる製材 ※ ひのき ( ・ ) ○ 図示による (12. 6. 1)

○ 6. 壁 及 び 天 井 下 地

木材  
○ 杉 ・ 松 ( ・ ) ・ 図示による (12. 7. 1)

12  
1  
軸  
組  
構  
法  
( 壁  
構  
造  
系 )  
工  
事

1. 共 通 事 項

※ 公共建築木造工事標準仕様書(平成31年版)5章の規定による。  
※ 建築基準法施行令第46条第4項表1に掲げる軸組を用いて、同4項の壁量を満たす建築物 木標準(5. 1. 1)  
部材寸法、その他 木標準(5. 2. 2)  
柱 ( 120\*120 ) @ 950  
間柱 ( 120\*60 ) @ 455  
胴縁 ( 13\*45 ) @ 455  
木摺 ( 13\*75 ) @ 455  
天井 吊木受 ( 45\*120～150 ) @ 950  
吊木 ( 45\*45 ) @ 950  
野縁受 ( 45\*45 ) @ 950  
野縁 ( 45\*45 ) @ 455  
※ 但し、下地材の間隔は、使用材料の規格寸法にあわせる。

2. 木 材

構造材及び下地材に対する釘の打ち込み本数等 木標準(5. 2. 4)  
※ 木標準5章の規定以外は図示による。  
ボルトの径 ( ※ 図示 ( ・ ) )  
※ 木標準5章の規定以外は図示による。  
ボルトが受ける応力の種類  
・ 引張りを受けるボルト ( ※ 図示 ( ・ ) )  
・ セン断力を受けるボルト ( ※ 図示 ( ・ ) )  
複合金物の工法等を木材に接合するためのボルト等の種類、形状、寸法及び本数  
※ 図示及び木標準5章各節の規定による。  
( ・ )  
※ 構造金物はZマーク品又は(公財)日本住宅・木材技術センターにより認定されたものを使用する。

3. 接 合 金 物 ・ 接 合 具 等

※ 「木造の継手及び仕口の構造方法を定める件」(平成12年5月31日 建設省告示第1460号) 木標準(5. 4. 2)による。

4. 仕 口 及 び 継 手 の  
工 法

13  
屋  
根  
及  
び  
と  
い  
工  
事

1. 長 尺 金 属 板 葺

(13. 2. 2)(13. 2. 3)(表13. 2. 1)  

屋根葺き形式	材 種 (板・コイル)	表 面 処 理	板厚(mm)
・ 心木なし瓦棒葺	・ 塗装溶融亜鉛めっき鋼板(JIS G 3312)	・ フッソ樹脂塗装	※ 0.4 ・ 0.5
・ 立て平葺	・ 溶融アルミニウムめっき鋼板(JIS G 3314)	・ 亜鉛めっき塗装	・ 0.6 ・ 0.8
・ 横葺	・ 塗装溶融亜鉛－5％アルミニウム合金めっき鋼板(JIS G 3318)	・ 焼付塗装	・ 0.8 ・ 1.0
	・ 溶融55％アルミニウム－亜鉛合金めっき鋼板(JIS G 3321)	・	・ 1.2 ・
	・ 塗装溶融55％アルミニウム－亜鉛合金めっき鋼板(JIS G 3322)		
・ 鼻隠し・ケラバ	・		※ 0.6

  
専門工事業者は製造所の指定業者とする  
塗膜の耐久性の種類 表面 ・ 1類 ・ 2類 ・ 3類 裏面 ・ 1類 ・ 2類 ( ・ )  
めっき付着量 ( ・ )  
下葺材料 ※ アスファルトルーフィング940 ・ 改質アスファルトルーフィング下葺材  
工法 建築基準法に基づき定まる風圧力に対応した工法 ※ 図示による  
横葺きの場合のけらば納め ・ つかみ込み納め ・ けらば納め  
・ 塗装溶融亜鉛めっき鋼板 (板厚(mm) ・ 0.6 ・ 0.8 ) (13. 3. 2)(13. 3. 3)  
・ (板厚(mm) ・ )  
寸法 山高 ( )mm 山ピッチ ( )mm  
形式 ※ 重ね形 ・ はぜ縁め形 ・ かん合形  
直接外気の影響を受けない屋内のタイトフレームに使用する材料 ※ 図示による  
軒先面戸板 ※ 有り ・ 無し  
断熱材張り ( 種別： 厚さ： 防火性能： )  
工法 建築基準法に基づき定まる風圧力に対応した工法 ※ 図示による

2. 折 板 葺

材料 ※ 塗装溶融亜鉛めっき鋼板 (板厚(mm) ・ 0.6 ・ 0.8 ) (13. 3. 2)(13. 3. 3)  
・ (板厚(mm) ・ )  
寸法 山高 ( )mm 山ピッチ ( )mm  
形式 ※ 重ね形 ・ はぜ縁め形 ・ かん合形  
直接外気の影響を受けない屋内のタイトフレームに使用する材料 ※ 図示による  
軒先面戸板 ※ 有り ・ 無し  
断熱材張り ( 種別： 厚さ： 防火性能： )  
工法 建築基準法に基づき定まる風圧力に対応した工法 ※ 図示による

○ 3. と い

材種等 ※ 図示による (13. 5. 2)(表13. 5. 1)  
外部縦どい受け金物 ※ ステンレス製 ・ 鋼製(亜鉛めっき) (13. 5. 2)  
形状・取付間隔 ※ 図示による

4. 保 証 書 及 び 期 間

屋根工事の施工については、10年保証書を提出すること。なお、保証書は、受注者と施工業者の連帯とする。  
保証書の必要な屋根工事の施工業者は建設業法の許可業者とする。

株 式 会 社 畠 中 設 計

鹿児島市清水町13番22号  
〒892-0802 TEL(099)247-7575  
一級建築士 登録第145174号  
中村 純一

五里団地住宅28号棟新築本体工事

建築工事特記仕様書 5ー3

鹿児島市建設局建築部住宅課

Aー4

Ver.R50401





19  
内装工事

○

6. せっこうボード、  
その他ボード及び  
合板張り

○

7. 壁紙張り

○

8. 断熱・防露

○

9. その他

20  
ユニット及び  
その他の工事

1. フリーアクセス  
フロア

2. 可動間仕切  
(既製間仕切)

3. 移動間仕切  
(スライディングウォール)

4. トイレブース

○

5. 手すり及びタラップ

○

6. 階段滑り止め

7. 床目地棒

8. 黒板及び  
ホワイトボード

9. 鏡

○

10. 表示

11. ブラインド

○

12. カーテン及び  
カーテンレール

21  
排水工事

○

2. 緑石及び側溝

○

1. 路盤

22  
舗装工事

2. アスファルト舗装

○

3. コンクリート舗装

○

4. 透水性アスファルト  
舗装

○

5. ブロック系舗装

6. 砂利敷き

材種

※ SUS ・ ( )

形状

※ ビニルタイヤ又は合成ゴムタイヤ入り ・ ゴムタイヤなし

両端フラットエンド

・ 無 ※ 有

幅(mm)

・ 35 ※ 40

取付け工法

※ 接着工法 ・ 埋込み工法(溶接)

床仕上の異なる箇所には目地棒を入れる。

(20. 2. 8)

・ 黄銅製 4×12

・ ステンレス製 4×12

※ ステンレス製 H 型 (幅40 内外厚さ2)

(20. 2. 9)

種 類

寸 法(mm)

色 彩

備 考

・ 黒板

※ 研出し  
・ 焼付け

※ 緑 ・ 黒  
※ 緑 ・ 黒

※ 曲面  
・ スクリーン付引分け

・ ホワイトボード

※ ほうろう白板

※ 白  
・ 曲面

・ スクリーン付引分け  
※ 白

黒板及びホワイトボードについて5年保証書を提出すること。なお、保証書は受注者と施工業者の連帯とする。  
(製品には、製造年月、製作所記名プレートを取り付ける。)

(20. 2. 10)

厚さ

※ 5mm

・

○

10. 表示

・ 対人衝突防止表示

※ 図示(市販品

※ ステンレス製

径約30mm

・

( )

・ 無し

○

誘導標識、非常用進入口等の表示は消防法に適合する市販品とし、その他は共通詳細図による。

(20. 2. 11)

○

室名表示

※ 図示による

(20. 2. 13)

形 式

スラットの材種

開 閉 方 式

スラットの幅  
(mm)

ヘッドボックス  
及びホトムレール

・ 横形

※ アルミニウム合金

※ キヤ式 ・ コード式 ・ 操作棒式

※ 25 ・

※ 鋼製

・ 縦形

・ アルミスラット ・ クロススラット

※ 2本操作コード式

・ 80 ・ 100

レール、ブラケットの強さによる区分

※ 10-90 ・ ( )

(20. 2. 16) (表 20. 2. 1)

材料

カーテンレール

※ アルミニウム及びアルミニウム合金の押出成型材(アルマイト仕上げ)

・ ステンレス製

工法

暗幕用カーテン両端、上部及び召合せ重なり

※ 300mm以上

・

材料

※ 図示による

○

1. 路盤

・ 厚さ:

※ 図面による

(22. 3. 2)

・ 材料:

※ 再生クラッシュラン RC-40

・ クラッシュラン C-40

・ 図面による

(22. 3. 3)

・ 構成及び厚さ:

※ 図面による

(22. 4. 2)

・ 再生アスファルトの種類

・ 60～80

・ 80～100

・ ( )

(22. 4. 3)

・ シールコートの適用:

・ 行う

※ 行わない

(22. 4. 4)

・ 表層の加熱アスファルトの混合物の種類:

・ ( )

(22. 4. 6)

・ 切取り検査:

・ 行う

※ 行わない

・ アスファルト混合物等の抽出試験:

・ 行う

※ 行わない

(22. 5. 2)

・ 構成及び厚さ:

※ 図面による

(22. 5. 3)

・ 寒冷期に施工する場合で早強セメントを用いる場合:

※ 用いない

・ 用いる

(22. 8. 1)

・ 種類:

・ コンクリート平板舗装

○ インターロッキングブロック舗装

・ 舗石舗装

(22. 8. 2)

・ 構成及び厚さ:

※ 図面による

・ ブロックの敷設パターン:

※ 監督員の指示による

・ ( )

(22. 9. 2)

・ 構成及び厚さ:

※ 図面による

・ 種別:

・ A種

・ B種

種 類

材 料 の 種 別

表面処理(14.2.1～3、表14.2.1～2 による)

○

手すり

※ ステンレスSUS304

※ HL程度

○ 鏡面程度

・ #400

・ 鉄(亜鉛めっき)

(外部) ※ C種

・

(内部) ・

・ アルミ

(外部) ・

(内部) ・

○

タラップ

※ ステンレスSUS304

※ 研磨無し

○ 滑り止め加工

・ 鉄(亜鉛めっき)

(内外部) ※ C種

・

ステンレスSUS430を使用する箇所 ( )

株式会社 島中設計

鹿児島市清水町13番22号

〒892-0802 TEL(099)247-7575

一級建築士 登録第145174号

中村 純一

玉里団地住宅28号棟新築本体工事

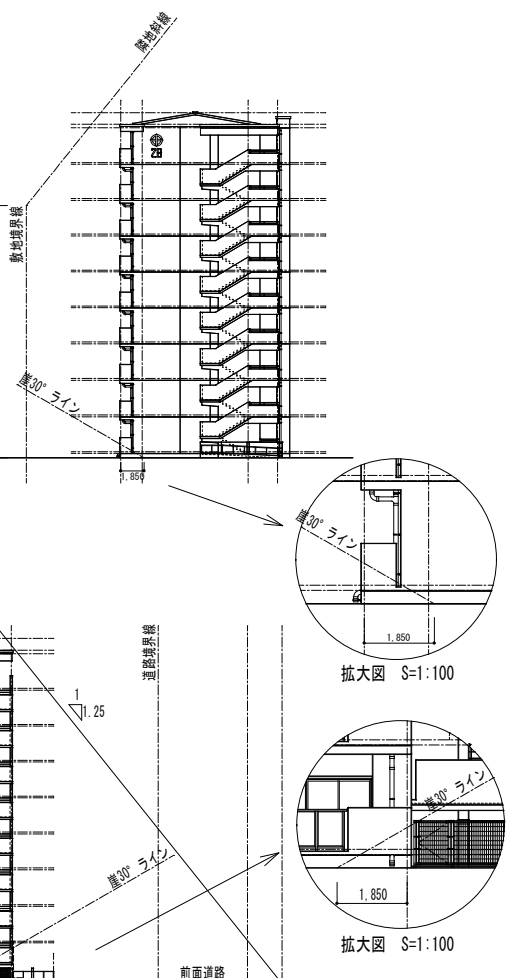
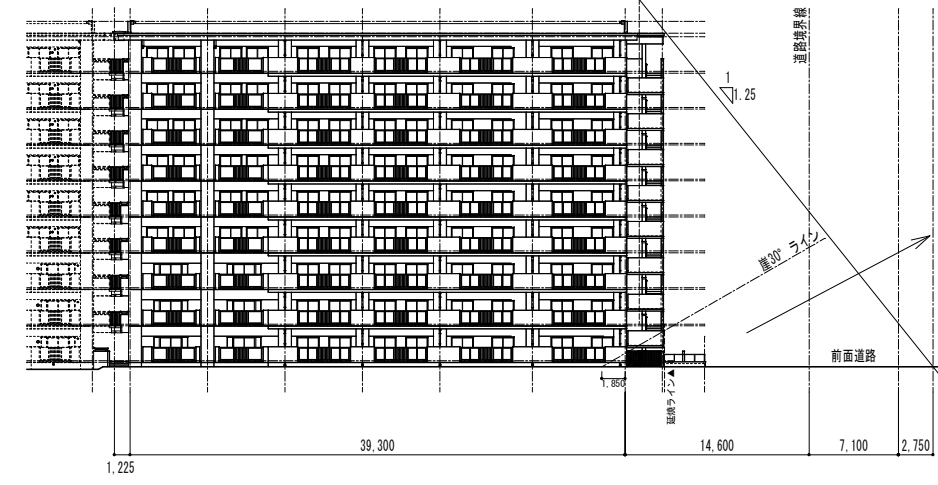
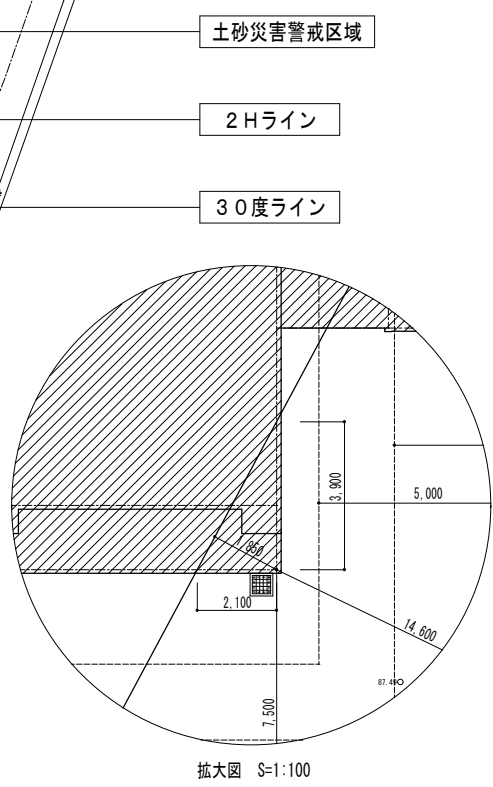
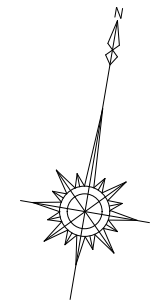
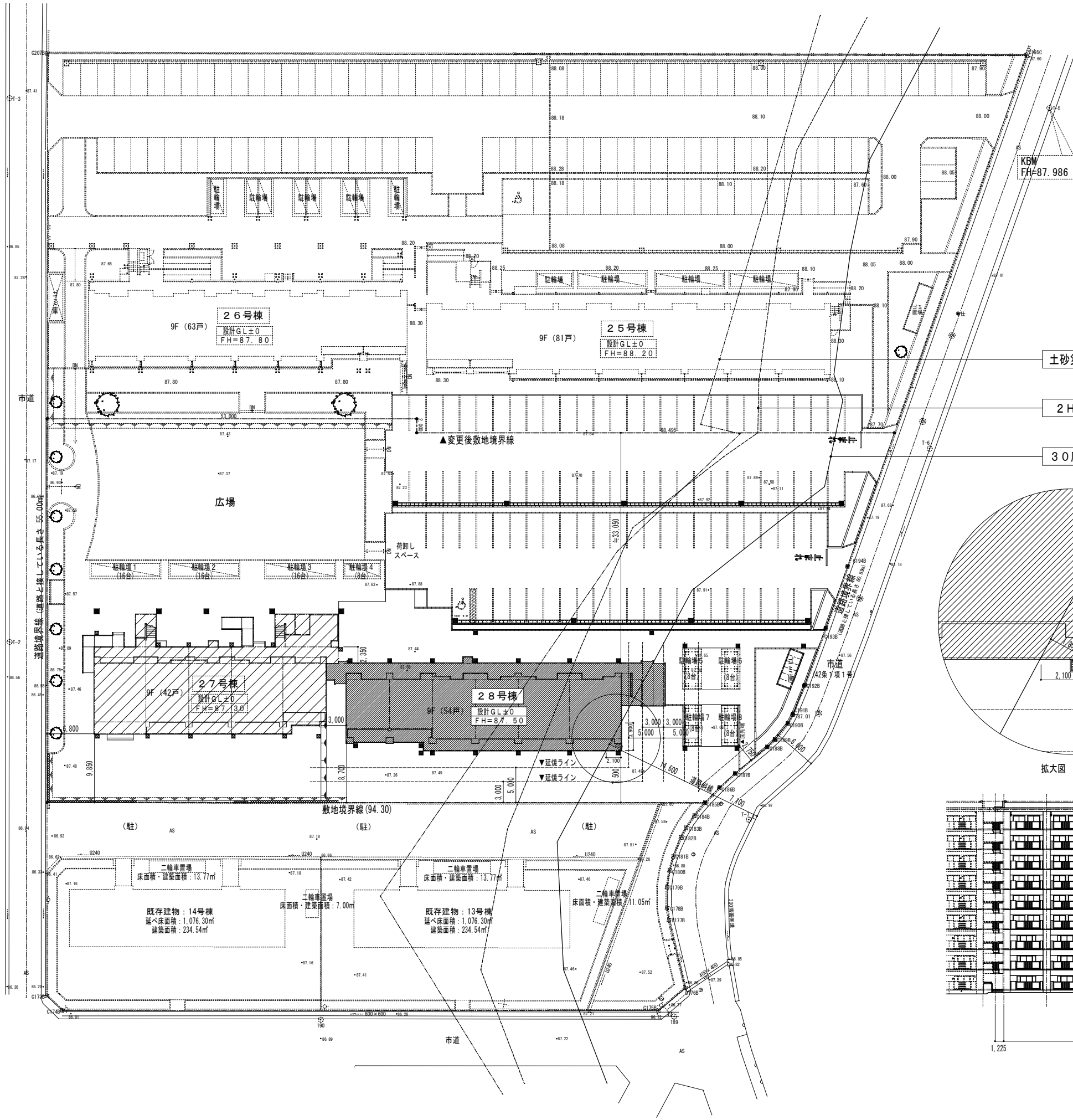
建築工事特記仕様書 5ー5

鹿児島市建設局建築部住宅課

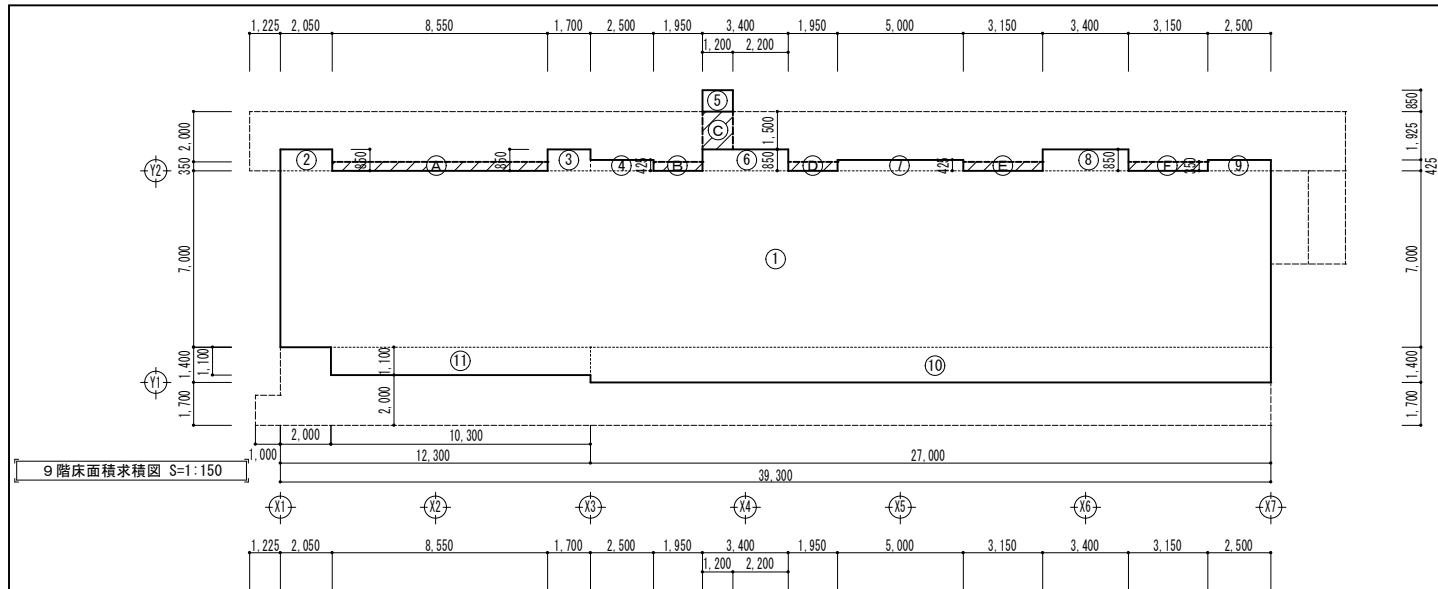
Aー6

Ver.R50401

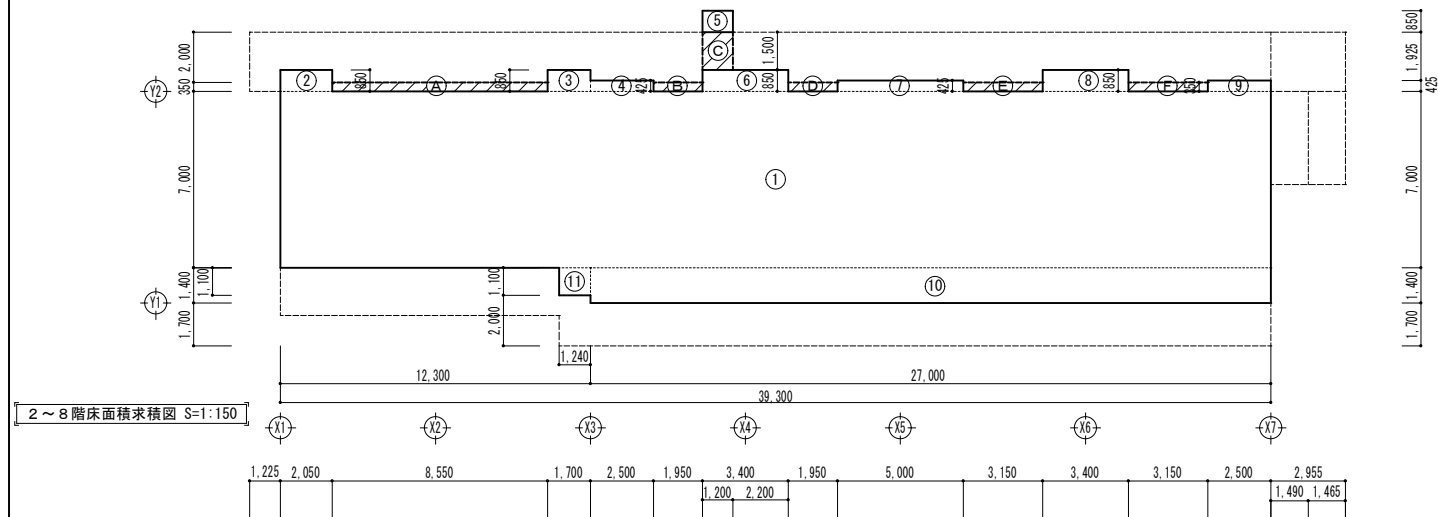




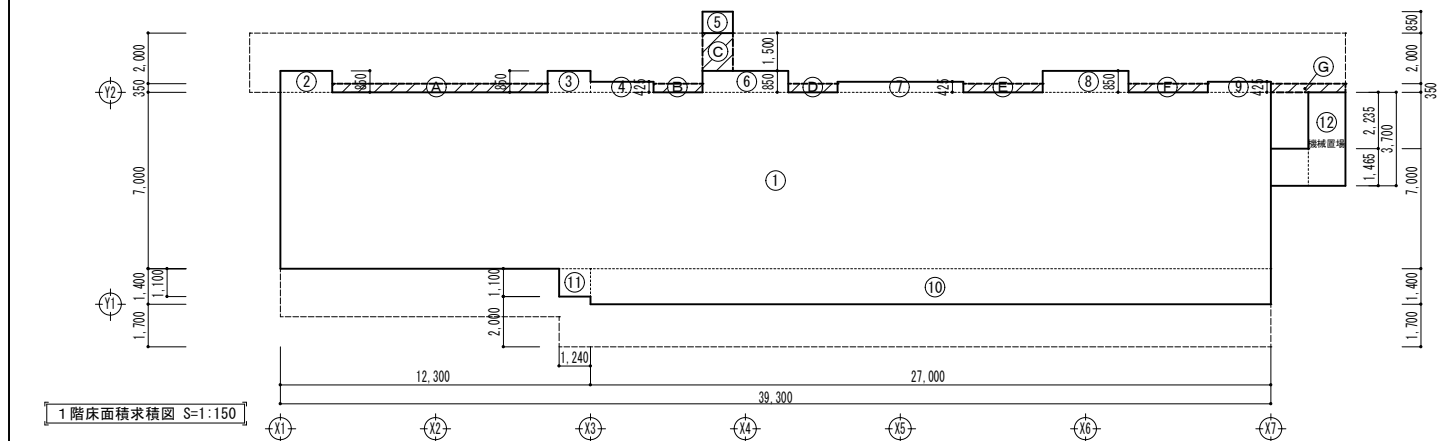




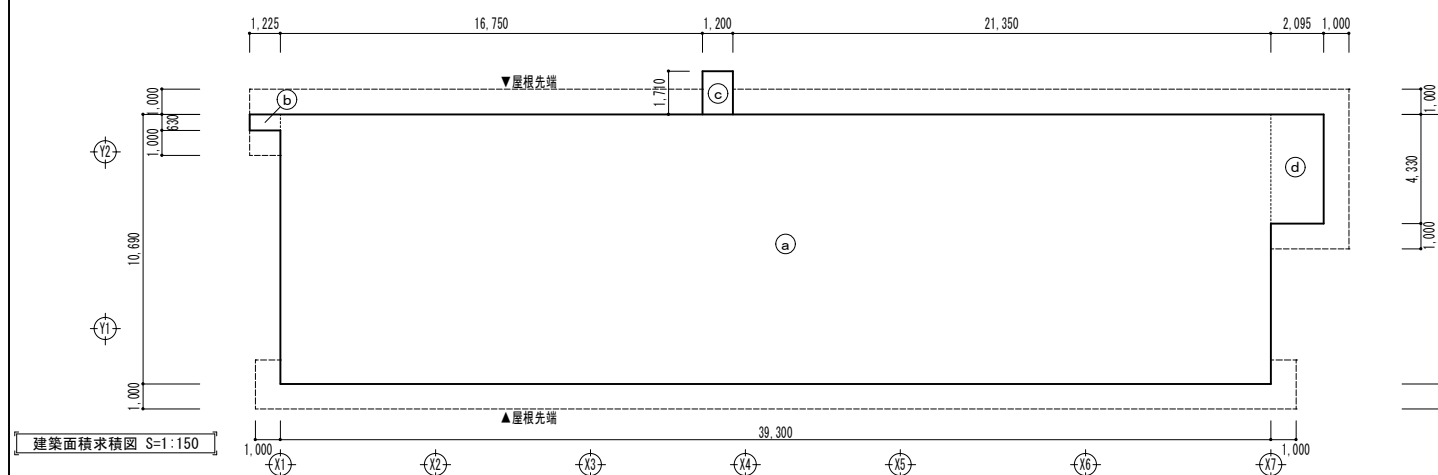
9階床面積求積図 S=1:150



2 ~ 8階床面積求積図 S=1:150



1 階床面積求積図 S=1:150



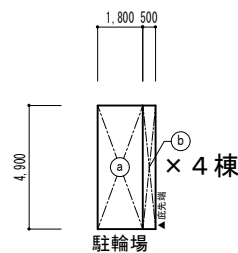
建築面積求積図 S=1:150

9 附床面積表					
番号	算 定 式	床面積	番号	算 定 式 (共用廊下)	床面積
①	39.300 × 7.000	275.100000	A	8.550 × 0.350	2.992500
②	2.050 × 0.850	1.742500	B	1.950 × 0.350	0.682500
③	1.700 × 0.850	1.445000	C	1.200 × 1.500	1.800000
④	2.500 × 0.425	1.062500	D	1.950 × 0.350	0.682500
⑤	1.200 × 0.850	1.020000	E	3.150 × 0.350	1.102500
⑥	3.400 × 0.850	2.890000	F	3.150 × 0.350	1.102500
⑦	5.000 × 0.425	2.125000			
⑧	3.400 × 0.850	2.890000			
⑨	2.500 × 0.425	1.062500			
⑩	27.000 × 1.400	37.800000			
⑪	10.300 × 1.100	11.330000			
	小計	338.467500	小計		8.362500
			合計	338.4675+8.362500	346.830000
					346.83㎡

2～8階床面積表(各階共通)					
番号	算 定 式	床面積	番号	算 定 式 (共用廊下)	床面積
①	39.300 × 7.000	275.100000	A	8.550 × 0.350	2.992500
②	2.050 × 0.850	1.742500	B	1.950 × 0.350	0.682500
③	1.700 × 0.850	1.445000	C	1.200 × 1.500	1.800000
④	2.500 × 0.425	1.062500	D	1.950 × 0.350	0.682500
⑤	1.200 × 0.850	1.020000	E	3.150 × 0.350	1.102500
⑥	3.400 × 0.850	2.890000	F	3.150 × 0.350	1.102500
⑦	5.000 × 0.425	2.125000			
⑧	3.400 × 0.850	2.890000			
⑨	2.500 × 0.425	1.062500			
⑩	27.000 × 1.400	37.800000			
⑪	1.240 × 1.100	1.364000			
	小計	328.501500	小計		8.362500
			合計	328.5015+8.362500	336.864000
					336.86㎡

1 附床面積表		床面積	算 定 式 ( 共 用 廊 下 )		床面積
番号	算 定 式 ( 容 積 率 対 象 )		番号	算 定 式 ( 共 用 廊 下 )	
(1)	39.300 × 7.000	275.100000	A	8.550 × 0.350	2.992500
(2)	2.050 × 0.850	1.742500	B	1.950 × 0.350	0.682500
(3)	1.700 × 0.850	1.445000	C	1.200 × 1.500	1.800000
(4)	2.500 × 0.425	1.062500	D	1.950 × 0.350	0.682500
(5)	1.200 × 0.850	1.020000	E	3.150 × 0.350	1.102500
(6)	3.400 × 0.850	2.890000	F	1.500 × 0.350	0.525000
(7)	5.000 × 0.425	2.125000	G	2.955 × 0.350	1.034250
(8)	3.400 × 0.850	2.890000			
(9)	2.500 × 0.425	1.062500			
(10)	27.000 × 1.400	37.800000			
(11)	1.240 × 1.100	1.364000			
(12)	3.700 × 1.465 + 1.490 × 1.465	7.603350			
小計		336.104850	小計		9.396750
			合計		336.104850+9.396750
					345.501600
					345.50m <sup>2</sup>

建築面積表		
番号	算定式	床面積
a	$10.690 \times 39.300$	420.117000
b	$1.225 \times 0.630$	0.771750
c	$1.200 \times 1.710$	2.052000
d	$2.095 \times 4.330$	9.071350
合計		432.012750
		432.01㎡



番号	算 定 式	床面積
(a)	$4.900 \times 1.800$	8.8200
(b)	$4.900 \times 0.500$	2.4500
	$8.82 + 2.45 = 11.27$	
	$11.27 \times 4 \text{ 棟} = 45.08$	45.08㎡

番号	算 定 式	床面積
a	$4.900 \times 1.800$	8.8200
	$8.82 \times 4 \text{ 棟} =$	35.2800
		35.28㎡

延床面積表	
階数	床 面 積
1階	345.50
2階	336.86
3階	336.86
4階	336.86
5階	336.86
6階	336.86
7階	336.86
8階	336.86
9階	346.83
合計	3,050.35㎡

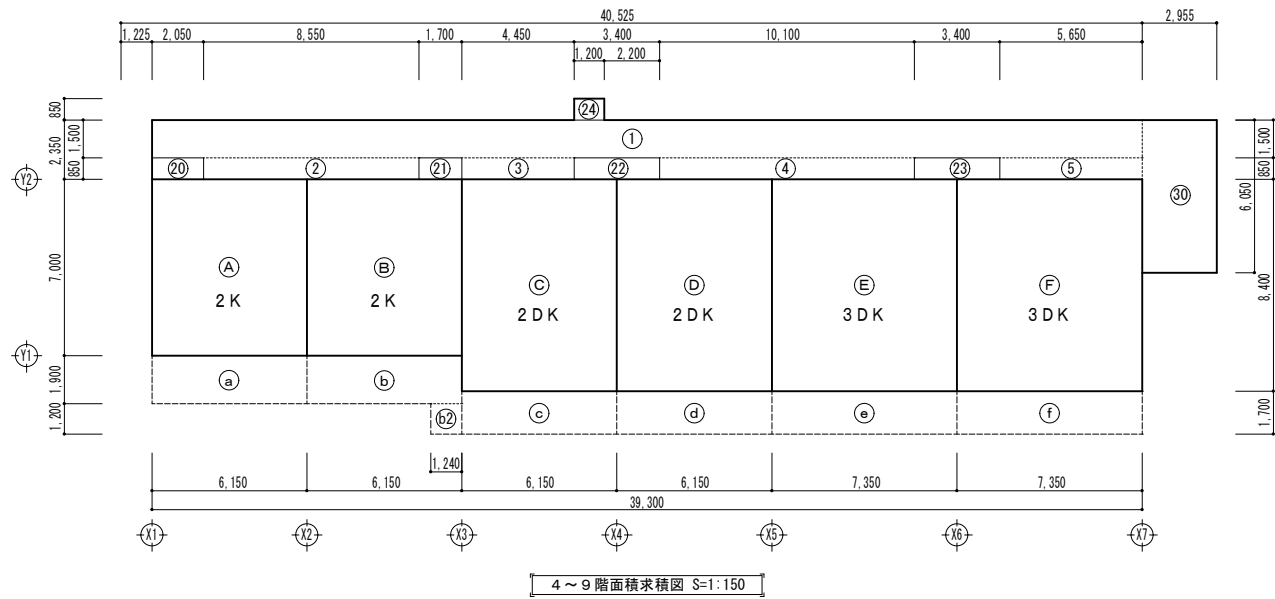
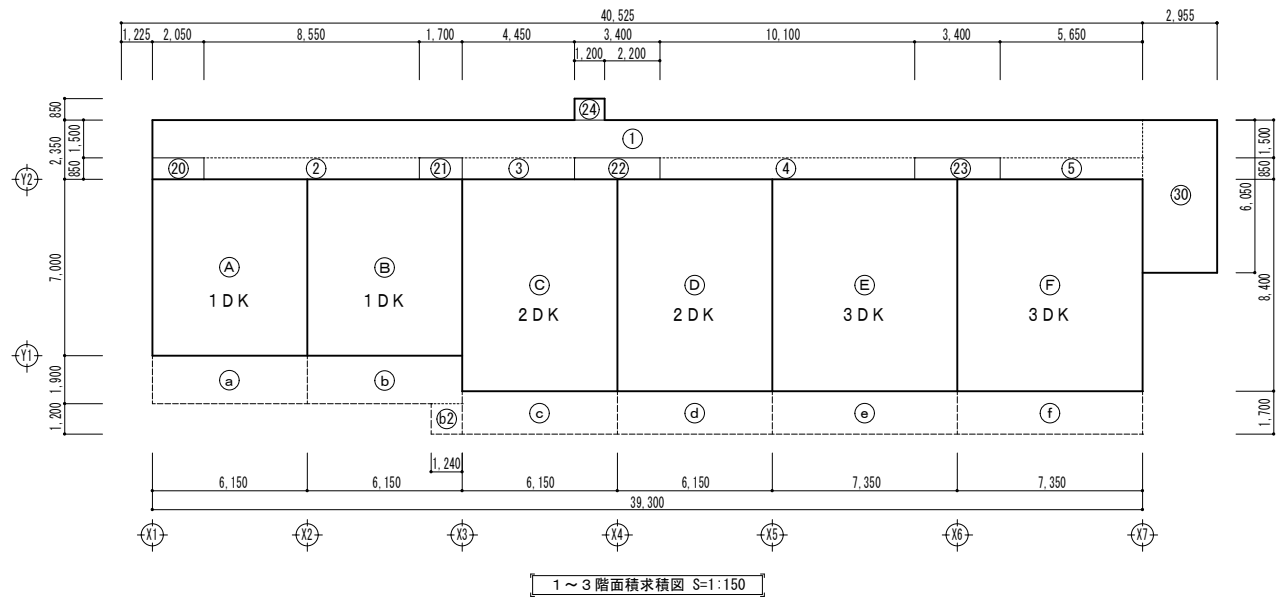
駐輪場床面積	
階数	床 面 積
	45.08m <sup>2</sup>

容積率対象 床面積表	
階数	床 面 積
1階	336.10
2階	328.50
3階	328.50
4階	328.50
5階	328.50
6階	328.50
7階	328.50
8階	328.50
9階	338.46
合計	2,974.06㎡

駐輪場容積率対象 床面積表	
階数	床 面 積
1 階	45.08㎡

	本 体	駐輪場	合 計
建築面積	432.01㎡	35.28㎡	467.29㎡
延床面積	3,050.35㎡	45.08㎡	3,095.43㎡
容積率対象床面積	2,974.06㎡	<del>45.08㎡</del>	2,974.06㎡

車庫係と通用



1～3階面積表															
住戸部分面積						共有部分面積									
住戸タイプ	番号	算定式(住戸専用面積)	面積	番号	算定式(バルコニー)	面積	番号	算定式(廊下)	面積	番号	算定式(EPS・MB)	面積	番号	算定式(階段)	面積
1DK	A	6.150 × 7.000	43.0500	a	6.150 × 1.900 × 1/3	3.8950	1	40.525 × 1.500	60.7875	20	2.050 × 0.850	1.7425	30	2.955 × 6.050	17.8777
1DK (2～3通)	B	6.150 × 7.000	43.0500	b	6.150 × 1.900 = 11.6850	4.3910	2	8.550 × 0.850	7.2675	21	1.700 × 0.850	1.4450			
				b2	1.240 × 1.200 = 1.4880		3	4.450 × 0.850	3.7825	22	3.400 × 0.850	2.8900			
					(11.685 + 1.488) × 1/3		4	10.100 × 0.850	8.5850	23	3.400 × 0.850	2.8900			
2DK	C	6.150 × 8.400	51.6600	c	6.150 × 1.700 × 1/3	3.4850	5	5.650 × 0.850	4.8025	24	1.200 × 0.850	1.0200			
	D	6.150 × 8.400	51.6600	d	6.150 × 1.700 × 1/3	3.4850									
3DK	E	7.350 × 8.400	61.7400	e	7.350 × 1.700 × 1/3	4.1650									
	F	7.350 × 8.400	61.7400	f	7.350 × 1.700 × 1/3	4.1650									
			</												

4～9階面積表															
住戸部分面積							共有部分面積								
住戸タイプ	番号	算定式(住戸専用面積)	面積	番号	算定式(バルコニー)	面積	番号	算定式(廊下)	面積	番号	算定式(EPS・MB)	面積	番号	算定式(階段)	面積
1 K	A	6.150 × 7.000	43.0500	a	6.150 × 1.900 × 1/3	3.8950	1	40.525 × 1.500	60.7875	20	2.050 × 0.850	1.7425	30	2.955 × 6.050	17.8777
1 K (2～3通)	B	6.150 × 7.000	43.0500	b	6.150 × 1.900 = 11.6850	4.3910	2	8.550 × 0.850	7.2675	21	1.700 × 0.850	1.4450			
				b2	1.240 × 1.200 = 1.4880		3	4.450 × 0.850	3.7825	22	3.400 × 0.850	2.8900			
					(11.685 + 1.488) × 1/3		4	10.100 × 0.850	8.5850	23	3.400 × 0.850	2.8900			
2 D K	C	6.150 × 8.400	51.6600	c	6.150 × 1.700 × 1/3	3.4850	5	5.650 × 0.850	4.8025	24	1.200 × 0.850	1.0200			
3 D K	D	6.150 × 8.400	51.6600	d	6.150 × 1.700 × 1/3	3.4850									
	E	7.350 × 8.400	61.7400	e	7.350 × 1.700 × 1/3	4.1650									
	F	7.350 × 8.400	61.7400	f	7.350 × 1.700 × 1/3	4.1650									

28号棟 公営住宅法床面積														
住戸タイプ							住戸部分面積				共有部分面積			
階数	1DK	1DK (2～3通)	2DK	3DK	2K	2K (2～3通)	合計	住戸専用面積	バルコニー面積	住戸部分面積小計	廊下	E P S ・ M B	階段	共有部分面積小計
1階	1	1	2	2			6	312.9000	23.5860	336.4860	85.2250	9.9875	17.8777	114.1314
2階	1	1	2	2			6	312.9000	23.5860	336.4860	85.2250	9.9875	17.8777	114.1314
3階	1	1	2	2			6	312.9000	23.5860	336.4860	85.2250	9.9875	17.8777	114.1314
4階			2	2	1	1	6	312.9000	23.5860	336.4860	85.2250	9.9875	17.8777	114.1314
5階			2	2	1	1	6	312.9000	23.5860	336.4860	85.2250	9.9875	17.8777	114.1314
6階			2	2	1	1	6	312.9000	23.5860	336.4860	85.2250	9.9875	17.8777	114.1314
7階			2	2	1	1	6	312.9000	23.5860	336.4860	85.2250	9.9875	17.8777	114.1314
8階			2	2	1	1	6	312.9000	23.5860	336.4860	85.2250	9.9875	17.8777	114.1314
9階			2	2	1	1	6	312.9000	23.5860	336.4860	85.2250	9.9875	17.8777	114.1314
合計	3	3	18	18	6	6	54	2,816.1000	212.2740	3,028.3740	767.0250	89.8875	160.8993	1,017.8118
戸当たり面積														
4,046.1858/54=74.9293														74.9293

28号棟 公営住宅法床面積						
住戸タイプ	戸数	住戸部分			1戸当たり共用部分面積 (総共用面積/総住戸専用面積×各住戸専用面積)	戸当たり面積 (住戸部分+1戸共用部分)
		住戸専用面積	バルコニー×1/3	計		
1DK	3	43.0500	3.8950	46.9450	1,017.8118 / 2,816.1000 × 43.0500 = 15.5593	62.5043
1DK(2～3通)	3	43.0500	4.3910	47.4410	1,017.8118 / 2,816.1000 × 43.0500 = 15.5593	63.0003
2DK	18	51.6600	3.4850	55.1450	1,017.8118 / 2,816.1000 × 51.6600 = 18.6712	73.8162
3DK	18	61.7400	4.1650	65.9050	1,017.8118 / 2,816.1000 × 61.7400 = 22.3144	88.2194
2K	6	43.0500	3.8950	46.9450	1,017.8118 / 2,816.1000 × 43.0500 = 15.5593	62.5043
2K(2～3通)	6	43.0500	4.3910	47.4410	1,017.8118 / 2,816.1000 × 43.0500 = 15.5593	63.0003
合計	54					



日影長さ表 [緯度 = 32°] [冬至]  
高さ = 10,000 (m) 測定面高さ = 3.8 (m)  
計算高さ = 6,200 (m)

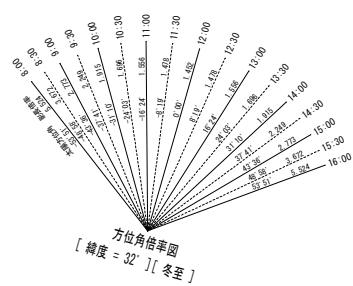
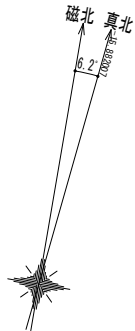
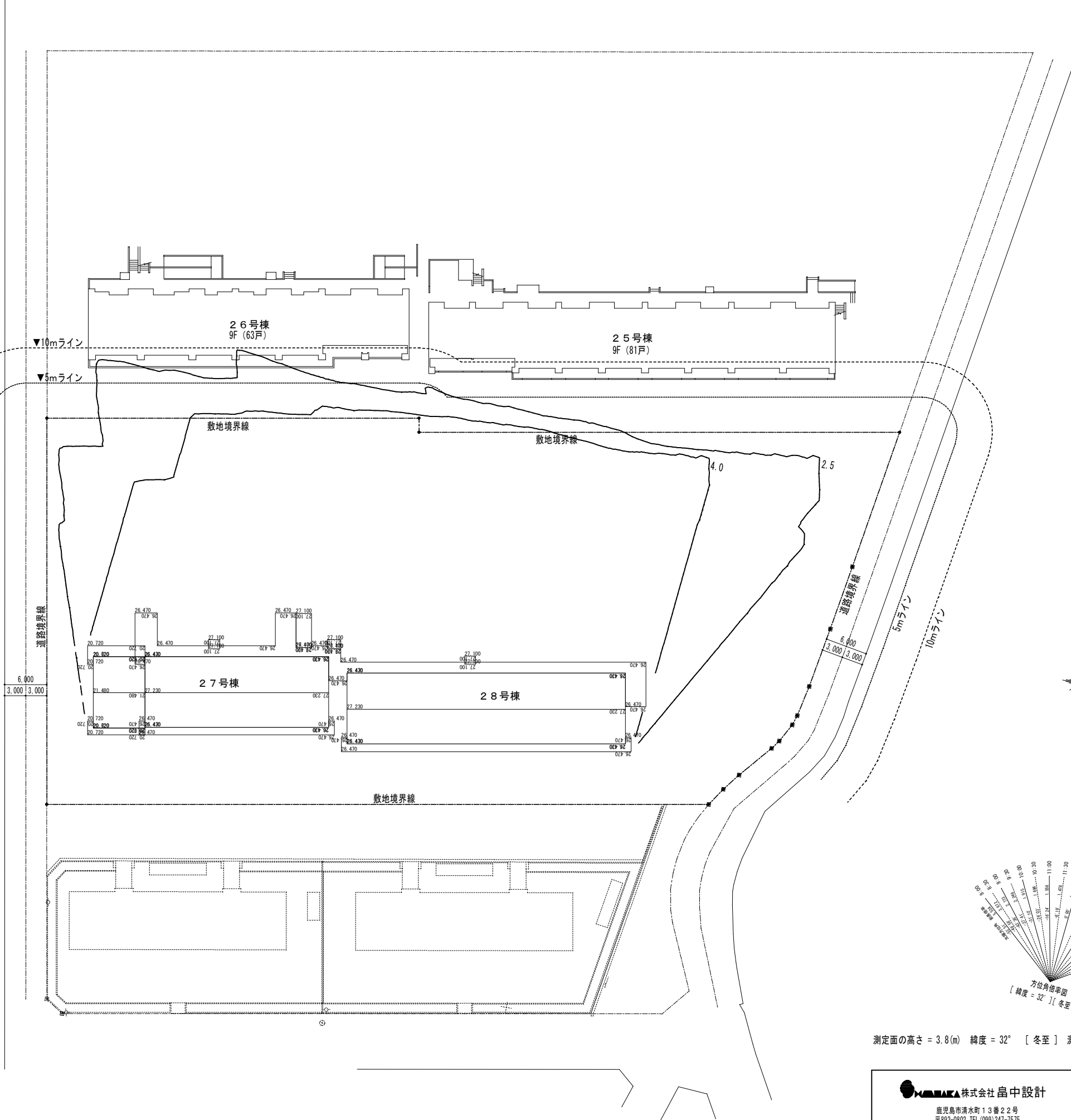
時刻	影長倍率	日影長さ (m)
8:00	5.524	34.249
8:30	3.672	22.766
9:00	2.773	17.193
9:30	2.249	13.944
10:00	1.915	11.873
10:30	1.696	10.515
11:00	1.556	9.647
11:30	1.478	9.164
12:00	1.452	9.002
12:30	1.478	9.164
13:00	1.556	9.647
13:30	1.696	10.515
14:00	1.915	11.873
14:30	2.249	13.944
15:00	2.773	17.193
15:30	3.672	22.766
16:00	5.524	34.249

影倍率表 [緯度 = 32°] [冬至]

時刻	太陽高度	太陽方位角	影長倍率	X倍率	Y倍率
8:00	10°16'	-53°51'	5.524	-4.460	3.259
8:30	15°14'	-48°58'	3.672	-2.770	2.411
9:00	19°50'	-43°36'	2.773	-1.912	2.008
9:30	23°59'	-37°41'	2.249	-1.374	1.780
10:00	27°34'	-31°10'	1.915	-0.991	1.639
10:30	30°31'	-24°03'	1.696	-0.691	1.549
11:00	32°44'	-16°24'	1.556	-0.439	1.493
11:30	34°05'	-8°19'	1.478	-0.214	1.462
12:00	34°33'	0°00'	1.452	0.000	1.452
12:30	34°05'	8°19'	1.478	0.214	1.462
13:00	32°44'	16°24'	1.556	0.439	1.493
13:30	30°31'	24°03'	1.696	0.691	1.549
14:00	27°34'	31°10'	1.915	0.991	1.639
14:30	23°59'	37°41'	2.249	1.374	1.780
15:00	19°50'	43°36'	2.773	1.912	2.008
15:30	15°14'	48°58'	3.672	2.770	2.411
16:00	10°16'	53°51'	5.524	4.460	3.259

10mライン

5mライン



測定面の高さ = 3.8 (m) 緯度 = 32° [冬至] 測定時間: 8時 ~ 16時

株式会社 畠中設計

鹿児島市清水町13番22号  
〒892-0802 TEL (099) 247-7575  
一級建築士 登録第145174号  
中村 純一

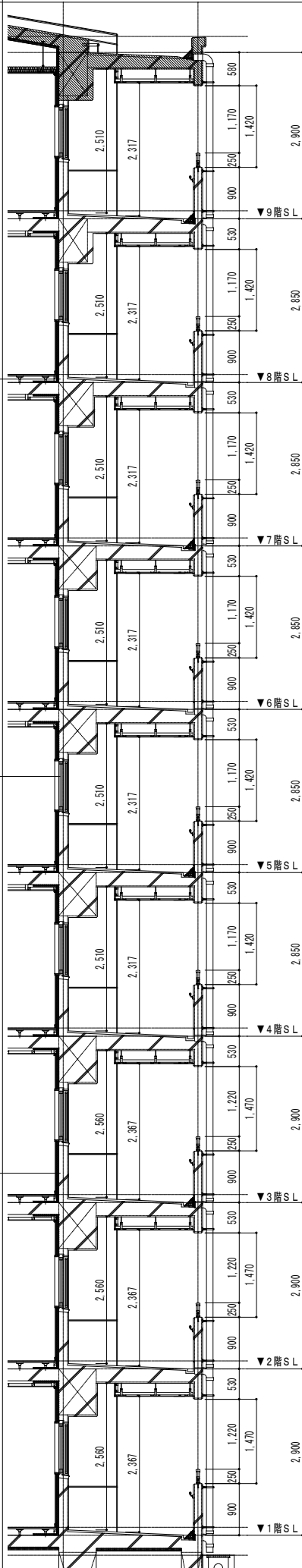
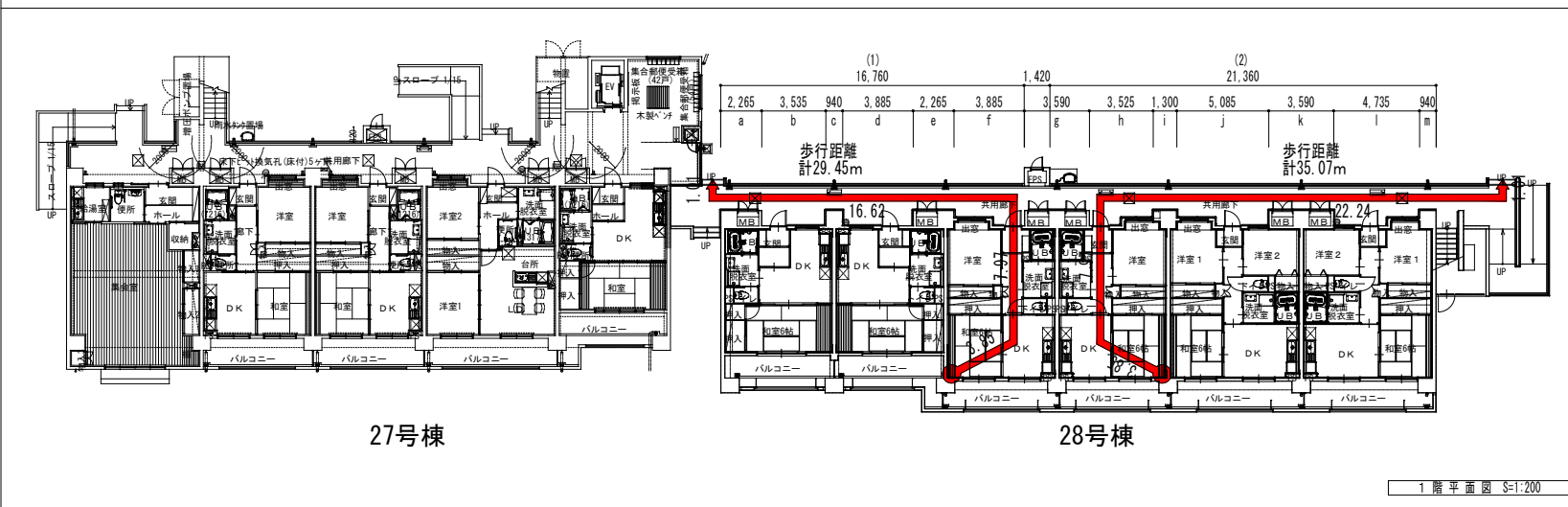
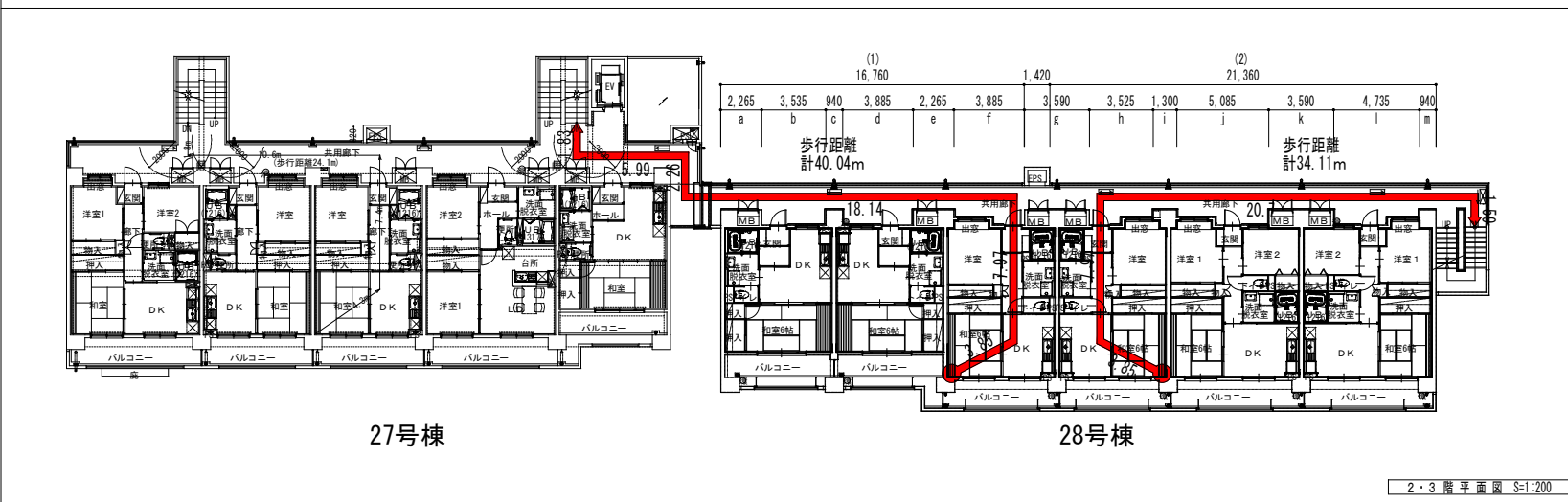
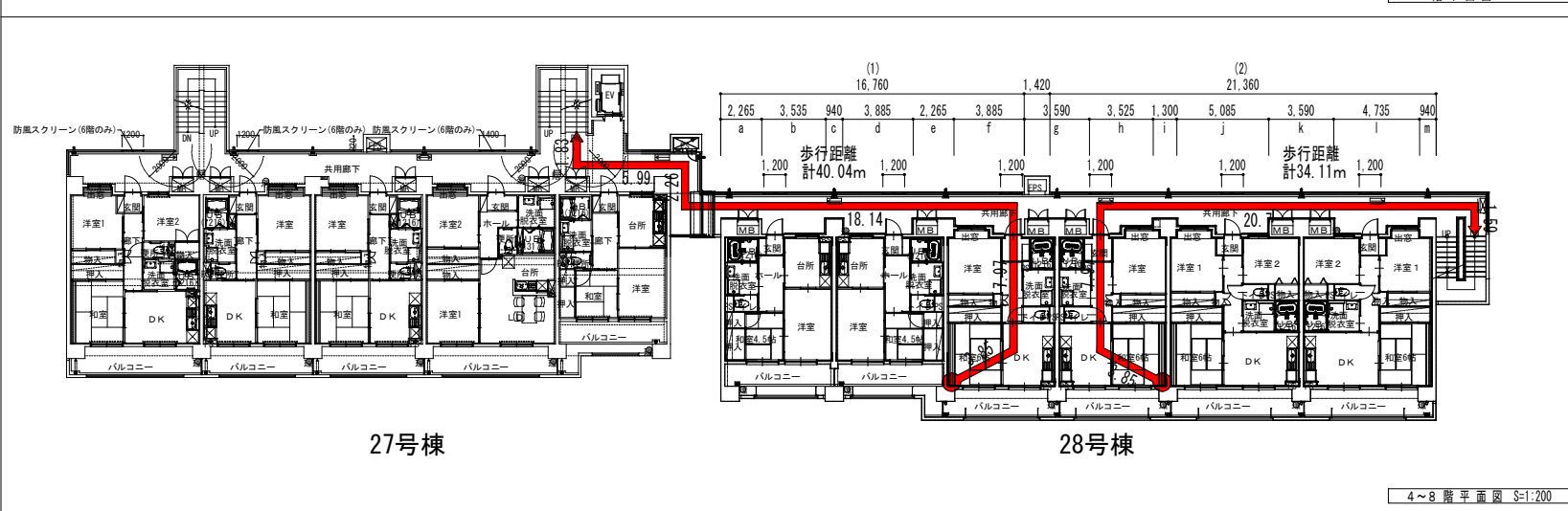
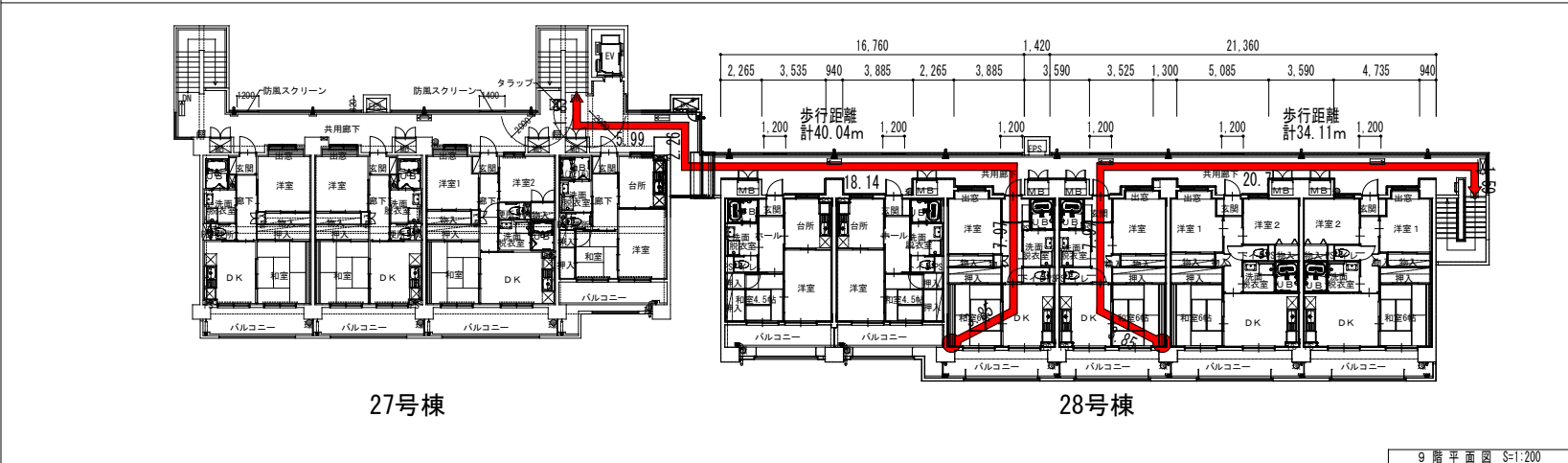
玉里団地住宅28号棟新築本体工事

日影図

A1: 1/300  
A3: 1/600

鹿児島市建設局建築部住宅課

A-11



9 階

【見付面積】

a	c	e	g	i	k	m
$(2.265+0.94+2.265+3.59+1.30+3.59+0.94) \times 2.317 = ① 34.5001$						
b	d	f	h	j	l	
$(3.535+3.885+3.885+3.525+5.085+4.735) \times 2.510 = ② 61.8715$						
合計 ① + ② = ③ 96.3716						
③ x 1/3 = ④ 32.1238						

【外気に面する部分の面積】

(1)	(2)
$(16.76+21.36) \times 1.4200 = ⑤ 54.1304$	
防風がリ→ $1.20 \times 1.42 \times 6ヶ所 = 10.224$	⑥ 10.2240
	⑤ 54.1304 - ⑥ 10.224 = ⑦ 43.9064
④ 32.1238	< ⑦ 43.9064 . . . 判定 OK

4～8 階

【見付面積】

a	c	e	g	i	k	m
$(2.265+0.94+2.265+3.59+1.30+3.59+0.94) \times 2.317 = ① 34.5001$						
b	d	f	h	j	l	
$(3.535+3.885+3.885+3.525+5.085+4.735) \times 2.510 = ② 61.8715$						
合計 ① + ② = ③ 96.3716						
③ x 1/3 = ④ 32.1238						

【外気に面する部分の面積】

(1)	(2)
$(16.76+21.36) \times 1.4200 = ⑤ 54.1304$	
防風がリ→ $1.20 \times 1.42 \times 6ヶ所 = 10.224$	⑥ 10.2240
	⑤ 54.1304 - ⑥ 10.224 = ⑦ 43.9064
④ 32.1238	< ⑦ 43.9064 . . . 判定 OK

2・3 階

【見付面積】

a	c	e	g	i	k	m
$(2.265+0.94+2.265+3.59+1.30+3.59+0.94) \times 2.367 = ① 35.2446$						
b	d	f	h	j	l	
$(3.535+3.885+3.885+3.525+5.085+4.735) \times 2.560 = ② 63.1040$						
合計 ① + ② = ③ 98.3486						
③ x 1/3 = ④ 32.7828						

【外気に面する部分の面積】

(1)	(2)
$(16.76+21.36) \times 1.4700 = ⑤ 56.0364$	
	④ 32.7828 < ⑤ 56.0364 . . . 判定 OK

1 階

【見付面積】

a	c	e	g	i	k	m
$(2.265+0.94+2.265+3.59+1.30+3.59+0.94) \times 2.367 = ① 35.2446$						
b	d	f	h	j	l	
$(3.535+3.885+3.885+3.525+5.085+4.735) \times 2.560 = ② 63.1040$						
合計 ① + ② = ③ 98.3486						
③ x 1/3 = ④ 32.7828						

【外気に面する部分の面積】

(1)	(2)
$(16.76+21.36) \times 1.4700 = ⑤ 56.0364$	
	④ 32.7828 < ⑤ 56.0364 . . . 判定 OK



設備用梁スリーブ補強											
部 位	60φ	120φ	140φ	170φ	220φ	270φ	300φ	400φ	550φ	600φ	630φ
地中梁 (GL以下)	21	5	13			3	1	1	1	11	5
梁		240		48							
合 計	21	245	13	48	7	3	1	1	1	11	5

設備用床スリーブ補強											
部 位	60φ	90φ	120φ	140φ	220φ						
床	47	100	69	3	162						
合 計	47	100	69	3	162						

各住戸内天井点検口・PS点検口 (壁面)・レンジフード点検口 (壁面)											
部 位	3DK	2DK	1DK	2K							合計
天井点検口 (□450)	18	18	6	12							54
PS点検口 (□300)	36	54	12	24							126
共用廊下天井点検口	450×450 (1～9階)			合計 19ヶ所							
廊下PS部消化放水口補強	400×500 (3～9階)			合計 7ヶ所							
天井開口補強 (洗面所)	450□			合計 54ヶ所							

シーリング		
部 位	材 質	形状 (ミリ)
外壁コンクリート 打継箇所	ポリウレタン系シーリング材 (PU-2)	20×15
外部建具廻り	変成シリコーン系シーリング (MS-2)	10×10
スリーブ廻り (外壁貫通部)	変成シリコーン系シーリング (MS-2)	10×10
手摺等支柱脚部廻り	変成シリコーン系シーリング (MS-2)	10×10
流し台廻り	シリコーン系シーリング材 (SR-1)	10×7

コンクリート面処理内容					
仕 上	使用 型 枠	場 所	コンクリート面の処理		仕 上
コンクリート化粧打放し補修の上 複層塗材 E	打放し B 種	外壁・手摺壁 屋外階段壁	打放し仕上面補修8種部分目違いばらい コーン処理		B 種
コンクリート化粧打放し補修の上 外装薄塗材 E		陽表 庇表	打放し仕上面補修8種部分目違いばらい コーン処理		B 種
コンクリート化粧打放し補修	打放し B 種	外壁腰壁、巾木	打放し仕上面補修8種部分目違いばらい コーン処理		
コンクリート化粧打放し補修の上クロス張 コンクリート化粧打放し補修の上 E P-G	打放し B 種	内壁	打放し仕上面補修8種部分目違いばらい コーン処理		
コンクリート化粧打放し補修 コンクリート化粧打放し補修の上 E P-G	打放し C 種	天井	打放し仕上面補修8種部分目違いばらい コーン処理		
コンクリート型枠外しのまま	普通合板型枠	EPS・PS MB			
コンクリート型枠外しのまま	普通合板型枠	内壁 (見え隠れ部分)			
コンクリート型枠外しのまま	普通合板型枠	天井 (見え隠れ部分)			

工 事 項 目				建築	機械	電気
1	水道メーター集中検針盤				○	
2	水道メーター集中検針盤取付け及び配線配管工事一式					○
3	隔測水道メーター及び取付け工事				○	
4	隔測水道メーター付属接続箱取付け及び配線工事一式					○
5	換気扇取付工事 (台所・便所・浴室)				○	
6	構造体の設備用貫通箱入れ及びスリーブ				○	○
7	同上用開口部の補強 (構造体の補強を必要とするもの)			○		
8	同上用開口部の補強			○		
9	防水スリーブ及び防水処理				○	○
10	設備用シャフトの点検口 取付高FL+1200 (点検口下端)			○		
11	既製品流し台 (排水トラップ共)・コンロ台・水切りプレート			○		
12	レンジフードファン前面・側面化粧板			○		
13	機器のコンクリート基礎			○		
14	ユニットバス換気扇用開口			○		
15	ユニットバス換気扇取付け				○	
16	ユニットバス設置			○		
17	雨水排水設備一式			○		
18	手摺			○		
19	タオル掛け			○		
20	洗面化粧台				○	
21	便器 (ペーパーホルダー共)				○	
22	洗濯機パン				○	
23	床下点検口 洗面所 洗面機パン附近 450角			○		
24	人通孔及び電気設備用開口床下ピット内地中梁			○		
25	給湯器取付枠用固定金物 SD-2 に取付 (サッシ工事)			○		

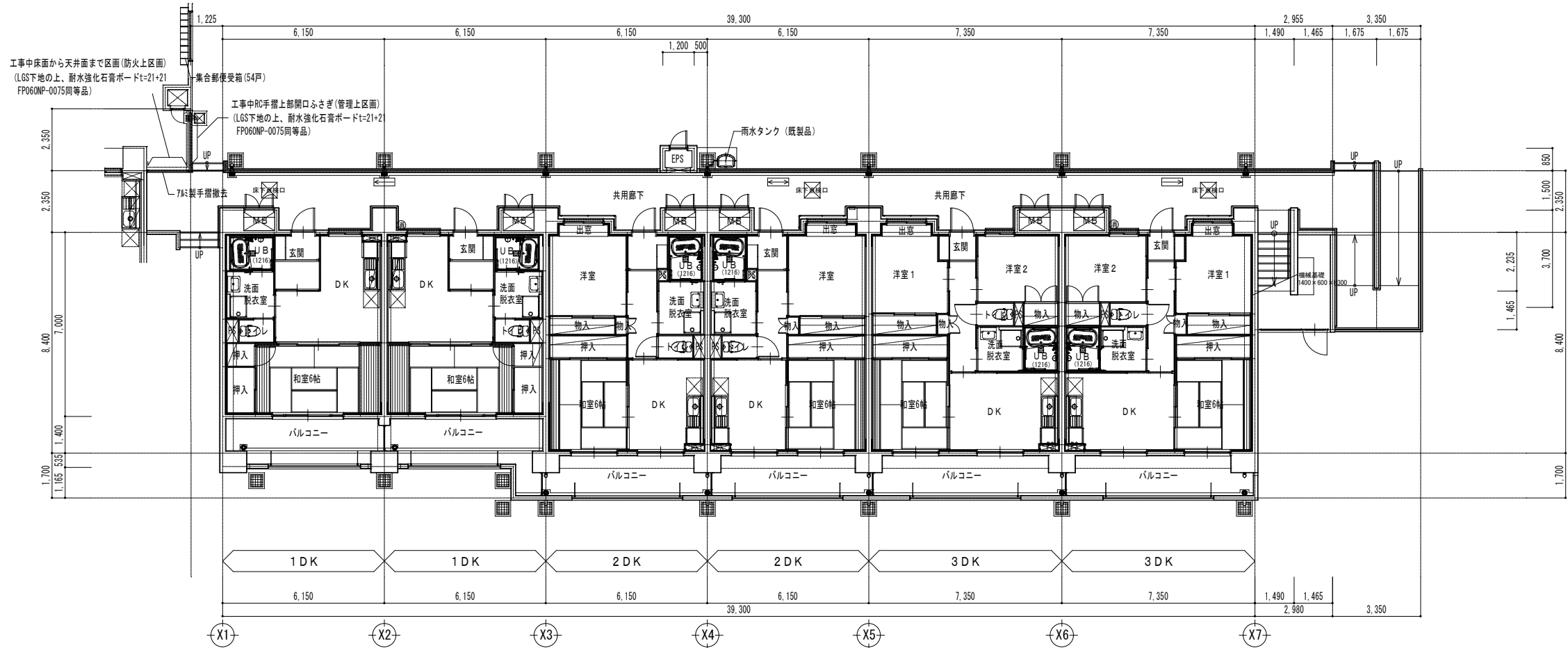
住 戸 一 覧 表								
種 別	住戸数	9階	2K	2K	2DK	2DK	3DK	3DK
3DK	18戸	8階	2K	2K	2DK	2DK	3DK	3DK
2DK	18戸	7階	2K	2K	2DK	2DK	3DK	3DK
2K	12戸	6階	2K	2K	2DK	2DK	3DK	3DK
1DK	6戸	5階	2K	2K	2DK	2DK	3DK	3DK
		4階	2K	2K	2DK	2DK	3DK	3DK
		3階	1DK	1DK	2DK	2DK	3DK	3DK
		2階	1DK	1DK	2DK	2DK	3DK	3DK
		1階	1DK	1DK	2DK	2DK	3DK	3DK
合 計	54戸							

外 部 仕 上 表									
勾 配 屋 根	屋 根 部	防水コンクリートタンピング押えの上 屋根用遮熱塗料塗(フッ素樹脂系) t=30増打 (ワイヤーメッシュ 6φ-150×150 一目半かつ 150以上重ね敷き)							
	立 上 り 端	防水コンクリート金コテ押えの上屋根用遮熱塗料塗 (フッ素樹脂系)							
	立 上 り 壁	防水コンクリート化粧打放し補修の上屋根用遮熱塗料塗 (フッ素樹脂系)							
陸 屋 根	床	防水コンクリートタンピング押えの上弾性系ポリウレタン樹脂塗 t=30増打 (ワイヤーメッシュ 6φ-150×150 一目半かつ 150以上重ね敷き)							
	パラベツト 天 端	防水コンクリート金コテ押えの上弾性系ポリウレタン樹脂塗							
	パラベツト 内 壁	防水コンクリート化粧打放し補修の上弾性系ポリウレタン樹脂塗							
	パラベツト 外 壁	防水コンクリート化粧打放し補修の上複層塗材 E							
	構 裏	下部：防水コンクリート化粧打放し補修の上外装薄塗材 E							
外 壁	一 般 部	コンクリート化粧打放し補修の上複層塗材 E (打継目地：PU-2、化粧目地：PU-2)							
	共用廊下内側	コンクリート化粧打放し補修の上複層塗材 E 一部～腰壁、コンクリート化粧打放し補修 S L +855マデ (化粧目地：空目地)							
	パ ーコニ内側	コンクリート化粧打放し補修の上複層塗材 E							
	共用廊下内側の手摺壁	コンクリート化粧打放し補修							
	パ ーコニ内側の手摺壁	コンクリート化粧打放し補修							
バルコニー	手 摺	アルミ手摺 (B L製品同等品以上)							
	手摺壁天端	コンクリート金コテ押えの上複層塗材 E (トップコートのみ)							
	手摺壁内側	コンクリート化粧打放し補修							
	手摺壁外側	コンクリート化粧打放し補修の上複層塗材 E							
	床	防水モルタル刷毛引き仕上 目地切：@2,000							
	巾 木	防水モルタル金コテ押え							
	排 水 溝	防水モルタル金コテ押え 排水溝：W=100							
	構 裏	コンクリート化粧打放し補修の上下外装薄塗材 E							
	共用廊下 (渡り廊下)	手摺壁天端	コンクリート金コテ押えの上複層塗材 E (トップコートのみ)						
ス ロ ー プ	手摺壁内側	コンクリート化粧打放し補修							
	手摺壁外側	コンクリート化粧打放し補修の上複層塗材 E							
	床	防水モルタル刷毛引き仕上 目地切：@2,000							
	巾 木	防水モルタル金コテ押え							
	排 水 溝	防水モルタル金コテ押え 排水溝：W=100							
	構 裏 (天 井)	L G S (25型) 下地 t=6.0ケイカル板貼の上外装薄塗材 E コンクリート化粧打放し補修の上外装薄塗材 E							
	手 摺	屋外用 光触媒入り合成樹脂 φ34 ブラケット：アルミ製							
	手摺壁天端	コンクリート金コテ押えの上複層塗材 E (トップコートのみ)							
	手摺壁内側	コンクリート化粧打放し補修							
手 摺 壁	手摺壁外側	コンクリート化粧打放し補修の上複層塗材 E							
	床	防水モルタル刷毛引き仕上 目地切：@2,000							
	巾 木	防水モルタル金コテ押え							
	排 水 溝	防水モルタル金コテ押え 排水溝：W=100							
	構 裏 (天 井)	L G S (25型) 下地 t=6.0ケイカル板貼の上外装薄塗材 E コンクリート化粧打放し補修の上外装薄塗材 E							
	手 摺	屋外用 光触媒入り合成樹脂 φ34 ブラケット：アルミ製							
	手摺壁天端	コンクリート金コテ押えの上複層塗材 E (トップコートのみ)							
	手摺壁内側	コンクリート化粧打放し補修							
	手摺壁外側	コンクリート化粧打放し補修の上複層塗材 E							
手 摺 壁	床	防水モルタル刷毛引き仕上 目地切：@2,000							
	巾 木	防水モルタル金コテ押え							
	排 水 溝	防水モルタル金コテ押え 排水溝：W=100							
	構 裏 (天 井)	L G S (25型) 下地 t=6.0ケイカル板貼の上外装薄塗材 E コンクリート化粧打放し補修の上外装薄塗材 E							
	手 摺	屋外用 光触媒入り合成樹脂 φ34 ブラケット：アルミ製							
	手摺壁天端	コンクリート金コテ押えの上複層塗材 E (トップコートのみ)							
	手摺壁内側	コンクリート化粧打放し補修							
	手摺壁外側	コンクリート化粧打放し補修の上複層塗材 E							
	床	防水モルタル刷毛引き仕上 目地切：@2,000							
手 摺 壁	巾 木	防水モルタル金コテ押え							
	排 水 溝	防水モルタル金コテ押え 排水溝：W=100							
	構 裏 (天 井)	L G S (25型) 下地 t=6.0ケイカル板貼の上外装薄塗材 E コンクリート化粧打放し補修の上外装薄塗材 E							
	手 摺	屋外用 光触媒入り合成樹脂 φ34 ブラケット：アルミ製							
	手摺壁天端	コンクリート金コテ押えの上複層塗材 E (トップコートのみ)							
	手摺壁内側	コンクリート化粧打放し補修							
	手摺壁外側	コンクリート化粧打放し補修の上複層塗材 E							
	床	防水モルタル刷毛引き仕上 目地切：@2,000							
	手 摺 壁	巾 木	防水モルタル金コテ押え						
排 水 溝		防水モルタル金コテ押え 排水溝：W=100							
構 裏 (天 井)		L G S (25型) 下地 t=6.0ケイカル板貼の上外装薄塗材 E コンクリート化粧打放し補修の上外装薄塗材 E							
手 摺		屋外用 光触媒入り合成樹脂 φ34 ブラケット：アルミ製							
手摺壁天端		コンクリート金コテ押えの上複層塗材 E (トップコートのみ)							
手摺壁内側		コンクリート化粧打放し補修							
手摺壁外側		コンクリート化粧打放し補修の上複層塗材 E							
床		防水モルタル刷毛引き仕上 目地切：@2,000							
手 摺 壁		巾 木	防水モルタル金コテ押え						
	排 水 溝	防水モルタル金コテ押え 排水溝：W=100							
	構 裏 (天 井)	L G S (25型) 下地 t=6.0ケイカル板貼の上外装薄塗材 E コンクリート化粧打放し補修の上外装薄塗材 E							
	手 摺	屋外用 光触媒入り合成樹脂 φ34 ブラケット：アルミ製							
	手摺壁天端	コンクリート金コテ押えの上複層塗材 E (トップコートのみ)							
	手摺壁内側	コンクリート化粧打放し補修							
	手摺壁外側	コンクリート化粧打放し補修の上複層塗材 E							
	床	防水モルタル刷毛引き仕上 目地切：@2,000							
	手 摺 壁	巾 木	防水モルタル金コテ押え						
排 水 溝		防水モルタル金コテ押え 排水溝：W=100							
構 裏 (天 井)		L G S (25型) 下地 t=6.0ケイカル板貼の上外装薄塗材 E コンクリート化粧打放し補修の上外装薄塗材 E							
手 摺		屋外用 光触媒入り合成樹脂 φ34 ブラケット：アルミ製							
手摺壁天端		コンクリート金コテ押えの上複層塗材 E (トップコートのみ)							
手摺壁内側		コンクリート化粧打放し補修							
手摺壁外側		コンクリート化粧打放し補修の上複層塗材 E							
床		防水モルタル刷毛引き仕上 目地切：@2,000							
手 摺 壁		巾 木	防水モルタル金コテ押え						
	排 水 溝	防水モルタル金コテ押え 排水溝：W=100							
	構 裏 (天 井)	L G S (25型) 下地 t=6.0ケイカル板貼の上外装薄塗材 E コンクリート化粧打放し補修の上外装薄塗材 E							
	手 摺	屋外用 光触媒入り合成樹脂 φ34 ブラケット：アルミ製							
	手摺壁天端	コンクリート金コテ押えの上複層塗材 E (トップコートのみ)							
	手摺壁内側	コンクリート化粧打放し補修							
	手摺壁外側	コンクリート化粧打放し補修の上複層塗材 E							
	床	防水モルタル刷毛引き仕上 目地切：@2,000							
	手 摺 壁	巾 木	防水モルタル金コテ押え						
排 水 溝		防水モルタル金コテ押え 排水溝：W=100							
構 裏 (天 井)		L G S (25型) 下地 t=6.0ケイカル板貼の上外装薄塗材 E コンクリート化粧打放し補修の上外装薄塗材 E							
手 摺		屋外用 光触媒入り合成樹脂 φ34 ブラケット：アルミ製							
手摺壁天端		コンクリート金コテ押えの上複層塗材 E (トップコートのみ)							
手摺壁内側		コンクリート化粧打放し補修							
手摺壁外側		コンクリート化粧打放し補修の上複層塗材 E							
床		防水モルタル刷毛引き仕上 目地切：@2,000							
手 摺 壁		巾 木	防水モルタル金コテ押え						
	排 水 溝	防水モルタル金コテ押え 排水溝：W=100							
	構 裏 (天 井)	L G S (25型) 下地 t=6.0ケイカル板貼の上外装薄塗材 E コンクリート化粧打放し補修の上外装薄塗材 E							
	手 摺	屋外用 光触媒入り合成樹脂 φ34 ブラケット：アルミ製							
	手摺壁天端	コンクリート金コテ押えの上複層塗材 E (トップコートのみ)							
	手摺壁内側	コンクリート化粧打放し補修							
	手摺壁外側	コンクリート化粧打放し補修の上複層塗材 E							
	床	防水モルタル刷毛引き仕上 目地切：@2,000							
	手 摺 壁	巾 木	防水モルタル金コテ押え						
排 水 溝		防水モルタル金コテ押え 排水溝：W=100							
構 裏 (天 井)		L G S (25型) 下地 t=6.0ケイカル板貼の上外装薄塗材 E コンクリート化粧打放し補修の上外装薄塗材 E							
手 摺		屋外用 光触媒入り合成樹脂 φ34 ブラケット：アルミ製							
手摺壁天端		コンクリート金コテ押えの上複層塗材 E (トップコートのみ)							
手摺壁内側		コンクリート化粧打放し補修							
手摺壁外側		コンクリート化粧打放し補修の上複層塗材 E							
床		防水モルタル刷毛引き仕上 目地切：@2,000							
手 摺 壁		巾 木	防水モルタル金コテ押え						
	排 水 溝	防水モルタル金コテ押え 排水溝：W=100							
	構 裏 (天 井)	L G S (25型) 下地 t=6.0ケイカル板貼の上外装薄塗材 E コンクリート化粧打放し補修の上外装薄塗材 E							
	手 摺	屋外用 光触媒入り合成樹脂 φ34 ブラケット：アルミ製							
	手摺壁天端	コンクリート金コテ押えの上複層塗材 E (トップコートのみ)							
	手摺壁内側	コンクリート化粧打放し補修							
	手摺壁外側	コンクリート化粧打放し補修の上複層塗材 E							
	床	防水モルタル刷毛引き仕上 目地切：@2,000							
	手 摺 壁	巾 木	防水モルタル金コテ押え						
排 水 溝		防水モルタル金コテ押え 排水溝：W=100							
構 裏 (天 井)		L G S (25型) 下地 t=6.0ケイカル板貼の上外装薄塗材 E コンクリート化粧打放し補修の上外装薄塗材 E							
手 摺		屋外用 光触媒入り合成樹脂 φ34 ブラケット：アルミ製							
手摺壁天端		コンクリート金コテ押えの上複層塗材 E (トップコートのみ)							
手摺壁内側		コンクリート化粧打放し補修							
手摺壁外側		コンクリート化粧打放し補修の上複層塗材 E							
床		防水モルタル刷毛引き仕上 目地切：@2,000							
手 摺 壁		巾 木	防水モルタル金コテ押え						
	排 水 溝	防水モルタル金コテ押え 排水溝：W=100							
	構 裏 (天 井)	L G S (25型) 下地 t=6.0ケイカル板貼の上外装薄塗材 E コンクリート化粧打放し補修の上外装薄塗材 E							
	手 摺	屋外用 光触媒入り合成樹脂 φ34 ブラケット：アルミ製							
	手摺壁天端	コンクリート金コテ押えの上複層塗材 E (トップコートのみ)							
	手摺壁内側	コンクリート化粧打放し補修							
	手摺壁外側	コンクリート化粧打放し補修の上複層塗材 E							
	床	防水モルタル刷毛引き仕上 目地切：@2,000							
	手 摺 壁	巾 木	防水モルタル金コテ押え						
排 水 溝		防水モルタル金コテ押え 排水溝：W=100							
構 裏 (天 井)		L G S (25型) 下地 t=6.0ケイカル板貼の上外装薄塗材 E コンクリート化粧打放し補修の上外装薄塗材 E							
手 摺		屋外用 光触媒入り合成樹脂 φ34 ブラケット：アルミ製							
手摺壁天端		コンクリート金コテ押えの上複層塗材 E (トップコートのみ)							
手摺壁内側		コンクリート化粧打放し補修							
手摺壁外側		コンクリート化粧打放し補修の上複層塗材 E							
床		防水モルタル刷毛引き仕上 目地切：@2,000							
手 摺 壁		巾 木	防水モルタル金コテ押え						
	排 水 溝	防水モルタル金コテ押え 排水溝：W=100							
	構 裏 (天 井)	L G S (25型) 下地 t=6.0ケイカル板貼の上外装薄塗材 E コンクリート化粧打放し補修の上外装薄塗材 E							
	手 摺	屋外用 光触媒入り合成樹脂 φ34 ブラケット：アルミ製							
	手摺壁天端	コンクリート金コテ押えの上複層塗材 E (トップコートのみ)							
	手摺壁内側	コンクリート化粧打放し補修							
	手摺壁外側	コンクリート化粧打放し補修の上複層塗材 E							
	床	防水モルタル刷毛引き仕上 目地切：@2,000							
	手 摺 壁	巾 木	防水モルタル金コテ押え						
排 水 溝		防水モルタル金コテ押え 排水溝：W=100							
構 裏 (天 井)		L G S (25型) 下地 t=6.0ケイカル板貼の上外装薄塗材 E コンクリート化粧打放し補修の上外装薄塗材 E							
手 摺		屋外用 光触媒入り合成樹脂 φ34 ブラケット：アルミ製							
手摺壁天端		コンクリート金コテ押えの上複層塗材 E (トップコートのみ)							
手摺壁内側		コンクリート化粧打放し補修							
手摺壁外側		コンクリート化粧打放し補修の上複層塗材 E							
床		防水モルタル刷毛引き仕上 目地切：@2,000							
手 摺 壁		巾 木	防水モルタル金コテ押え						
	排 水 溝	防水モルタル金コテ押え 排水溝：W=100							
	構 裏 (天 井)	L G S (25型) 下地 t=6.0ケイカル板貼の上外装薄塗材 E コンクリート化粧打放し補修の上外装薄塗材 E							
	手 摺	屋外用 光触媒入り合成樹脂 φ34 ブラケット：アルミ製							
	手摺壁天端	コンクリート金コテ押えの上複層塗材 E (トップコートのみ)							
	手摺壁内側	コンクリート化粧打放し補修							
	手摺壁外側	コンクリート化粧打放し補修の上複層塗材 E							
	床	防水モルタル刷毛引き仕上 目地切：@2,000							
	手 摺 壁	巾 木	防水モルタル金コテ押え						
排 水 溝		防水モルタル金コテ押え 排水溝：W=100							
構 裏 (天 井)		L G S (25型) 下地 t=6.0ケイカル板貼の上外装薄塗材 E コンクリート化粧打放し補修の上外装薄塗材 E							
手 摺		屋外用 光触媒入り合成樹脂 φ34 ブラケット：アルミ製							
手摺壁天端		コンクリート金コテ押えの上複層塗材 E (トップコートのみ)							
手摺壁内側		コンクリート化粧打放し補修							
手摺壁外側		コンクリート化粧打放し補修の上複層塗材 E							
床		防水モルタル刷毛引き仕上 目地切：@2,000							
手 摺 壁		巾 木	防水モルタル金コテ押え						
	排 水 溝	防水モルタル金コテ押え 排水溝：W=100							
	構 裏 (天 井)	L G S (25型) 下地 t=6.0ケイカル板貼の上外装薄塗材 E コンクリート化粧打放し補修の上外装薄塗材 E							
	手 摺	屋外用 光触媒入り合成樹脂 φ34 ブラケット：アルミ製							
	手摺壁天端	コンクリート金コテ押えの上複層塗材 E (トップコートのみ)							
	手摺壁内側	コンクリート化粧打放し補修							
	手摺壁外側	コンクリート化粧打放し補修の上複層塗材 E							
	床	防水モルタル刷毛引き仕上 目地切：@2,000							
	手 摺 壁	巾 木	防水モルタル金コテ押え						
排 水 溝		防水モルタル金コテ押え 排水溝：W=100							
構 裏 (天 井)		L G S (25型) 下地 t=6.0ケイカル板貼の上外装薄塗材 E コンクリート化粧打放し補修の上外装薄塗材 E							
手 摺		屋外用 光触媒入り合成樹脂 φ34 ブラケット：アルミ製							
手摺壁天端		コンクリート金コテ押えの上複層塗材 E (トップコートのみ)							
手摺壁内側		コンクリート化粧打放し補修							
手摺壁外側		コンクリート化粧打放し補修の上複層塗材 E							
床		防水モルタル刷毛引き仕上 目地切：@2,000							
手 摺 壁		巾 木	防水モルタル金コテ押え						
	排 水 溝	防水モルタル金コテ押え 排水溝：W=100							
	構 裏 (天 井)	L G S (25型) 下地 t=6.0ケイカル板貼の上外装薄塗材 E コンクリート化粧打放し補修の上外装薄塗材 E							
	手 摺	屋外用 光触媒入り合成樹脂 φ34 ブラケット：アルミ製							
	手摺壁天端	コンクリート金コテ押えの上複層塗材 E (トップコートのみ)							
	手摺壁内側	コンクリート化粧打放し補修							
	手摺壁外側	コンクリート化粧打放し補修の上複層塗材 E							
	床	防水モルタル刷毛引き仕上 目地切：@2,000							
	手 摺 壁	巾 木	防水モルタル金コテ押え						
排 水 溝		防水モルタル金コテ押え 排水溝：W=100							
構 裏 (天 井)		L G S (25型) 下地 t=6.0ケイカル板貼の上外装薄塗材 E コンクリート化粧打放し補修の上外装薄塗材 E							
手 摺		屋外用 光触媒入り合成樹脂 φ34 ブラケット：アルミ製							
手摺壁天端		コンクリート金コテ押えの上複層塗材 E (トップコートのみ)							
手摺壁内側		コンクリート化粧打放し補修							
手摺壁外側		コンクリート化粧打放し補修の上複層塗材 E							
床		防水モルタル刷毛引き仕上 目地切：@2,000							
手 摺 壁		巾 木	防水モルタル金コテ押え						
	排 水 溝	防水モルタル金コテ押え 排水溝：W=100							
	構 裏 (天 井)	L G S (25型) 下地 t=6.0ケイカル板貼の上外装薄塗材 E コンクリート化粧打放し補修の上外装薄塗材 E							
	手 摺	屋外用 光触媒入り合成樹脂 φ34 ブラケット：アルミ製							
	手摺壁天端	コンクリート金コテ押えの上複層塗材 E (トップコートのみ)							
	手摺壁内側	コンクリート化粧打放し補修							
	手摺壁外側	コンクリート化粧打放し補修の上複層塗材 E							
	床	防水モルタル刷毛引き仕上 目地切：@2,000							
	手 摺 壁	巾 木	防水モルタル金コテ押え						
排 水 溝		防水モルタル金コテ押え 排水溝：W=100							
構 裏 (天 井)		L G S (25型) 下地 t=6.0ケイカル板貼の上外装薄塗材 E コンクリート化粧打放し補修の上外装薄塗材 E							
手 摺		屋外用 光触媒入り合成樹脂 φ34 ブラケット：アルミ製							
手摺壁天端		コンクリート金コテ押えの上複層塗材 E (トップコートのみ)							
手摺壁内側		コンクリート化粧打放し補修							
手摺壁外側		コンクリート化粧打放し補修の上複層塗材 E							
床		防水モルタル刷毛引き仕上 目地切：@2,000							
手 摺 壁		巾 木	防水モルタル金コテ押え						
	排 水 溝	防水モルタル金コテ押え 排水溝：W=100							
	構 裏 (天 井)	L G S (25型) 下地 t=6.0ケイカル板貼の上外装薄塗材 E コンクリート化粧打放し補修の上外装薄塗材 E							
	手 摺	屋外用 光触媒入り合成樹脂 φ34 ブラケット：アルミ製							
	手摺壁天端	コンクリート金コテ押えの上複層塗材 E (トップコートのみ)							
	手摺壁内側	コンクリート化粧打放し補修							
	手摺壁外側	コンクリート化粧打放し補修の上複層塗材 E							
	床	防水モルタル刷毛引き仕上 目地切：@2,000							
	手 摺 壁	巾 木	防水モルタル金コテ押え						
排 水 溝		防水モルタル金コテ押え 排水溝：W=100							
構 裏 (天 井)		L G S (25型) 下地 t=6.0ケイカル板貼の上外装薄塗材 E コンクリート化粧打放し補修の上外装薄塗材 E							
手 摺		屋外用 光触媒入り合成樹脂 φ34 ブラケット：アルミ製							
手摺壁天端		コンクリート金コテ押えの上複層塗材 E (トップコートのみ)							
手摺壁内側		コンクリート化粧打放し補修							
手摺壁外側		コンクリート化粧打放し補修の上複層塗材 E							
床		防水モルタル刷毛引き仕上 目地切：@2,000							
手 摺 壁		巾 木	防水モルタル金コテ押え						
	排 水 溝	防水モルタル金コテ押え 排水溝：W=100							
	構 裏 (天 井)	L G S (25型) 下地 t=6.0ケイカル板貼の上外装薄塗材 E コンクリート化粧打放し補修の上外装薄塗材 E							
	手 摺	屋外用 光触媒入り合成樹脂 φ34 ブラケット：アルミ製							
	手摺壁天端	コンクリート金コテ押えの上複層塗材 E (トップコートのみ)							
	手摺壁内側	コンクリート化粧打放し補修							
	手摺壁外側	コンクリート化粧打放し補修の上複層塗材 E							
	床	防水モルタル刷毛引き仕上 目地切：@2,000							
	手 摺 壁	巾 木	防水モルタル金コテ押え						
排 水 溝		防水モルタル金コテ押え 排水溝：W=100							
構 裏 (天 井)		L G S (25型) 下地 t=6.0ケイカル板貼の上外装薄塗材 E コンクリート化粧打放し補修の上外装薄塗材 E							
手 摺		屋外用 光触媒入り合成樹脂 φ34 ブラケット：アルミ製							
手摺壁天端		コンクリート金コテ押えの上複層塗材 E (トップコートのみ)							
手摺壁内側		コンクリート化粧打放し補修							
手摺壁外側		コンクリート化粧打放し補修の上複層塗材 E							
床		防水モルタル刷毛引き仕上 目地切：@2,000							
手 摺 壁		巾 木	防水モルタル金コテ押え						
	排 水 溝	防水モルタル金コテ押え 排水溝：W=100							
	構 裏 (天 井)	L G S (25型) 下地 t=6.0ケイカル板貼の上外装薄塗材 E コンクリート化粧打放し補修の上外装薄塗材 E							
	手 摺	屋外用 光触媒入り合成樹脂 φ34 ブラケット：アルミ製							
	手摺壁天端	コンクリート金コテ押えの上複層塗材 E (トップコートのみ)							
	手摺壁内側	コンクリート化粧打放し補修							
	手摺壁外側	コンクリート化粧打放し補修の上複層塗材 E							
	床	防水モルタル刷毛引き仕上 目地切：@2,000							
	手 摺 壁	巾 木	防水モルタル金コテ押え						
排 水 溝		防水モルタル金コテ押え 排水溝：W=100							
構 裏 (天 井)		L G S (25型) 下地 t=6.0ケイカル板貼の上外装薄塗材 E コンクリート化粧打放し補修の上外装薄塗材 E							
手 摺		屋外用 光触媒入り合成樹脂 φ34 ブラケット：アルミ製							
手摺壁天端		コンクリート金コテ押えの上複層塗材 E (トップコートのみ)							
手摺壁内側		コンクリート化粧打放し補修							
手摺壁外側		コンクリート化粧打放し補修の上複層塗材 E							
床		防水モルタル刷毛引き仕上 目地切：@2,000							
手 摺 壁		巾 木	防水モルタル金コテ押え						
	排 水 溝	防水モルタル金コテ押え 排水溝：W=100							
	構 裏 (天 井)	L G S (25型) 下地 t=6.0ケイカル板貼の上外装薄塗材 E コンクリート化粧打放し補修の上外装薄塗材 E							
	手 摺	屋外用 光触媒入り合成樹脂 φ34 ブラケット：アルミ製							
	手摺壁天端	コンクリート金コテ押えの上複層塗材 E (トップコートのみ)							
	手摺壁内側	コンクリート化粧打放し補修							
	手摺壁外側	コンクリート化粧打放し補修の上複層塗材 E							
	床	防水モルタル刷毛引き仕上 目地切：@2,000							
	手 摺 壁	巾 木	防水モルタル金コテ押え						
排 水 溝		防水モルタル金コテ押え 排水溝：W=100							
構 裏 (天 井)		L G S (25型) 下地 t=6.0ケイカル板貼の上外装薄塗材 E コンクリート化粧打放し補修の上外装薄塗材 E							
手 摺		屋外用 光触媒入り合成樹脂 φ34 ブラケット：アルミ製							
手摺壁天端		コンクリート金コテ押えの上複層塗材 E (トップコートのみ)							
手摺壁内側		コンクリート化粧打放し補修							
手摺壁外側		コンクリート化粧打放し補修の上複層塗材 E							

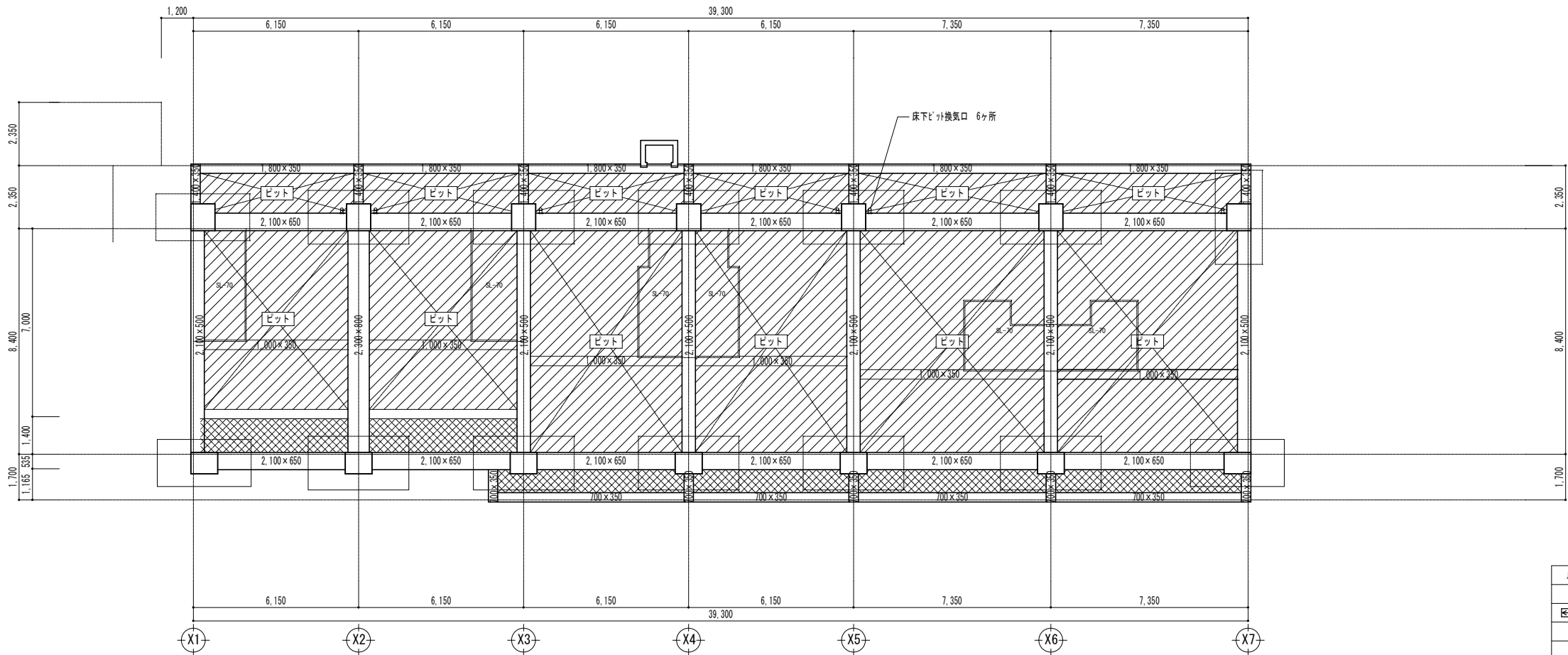
仕上表に使用する略号凡例						塗 装						防火材料			シーリング					
符 号	名 称	符 号	名 称	符 号	名 称	符 号	名 称	符 号	名 称	符 号	名 称	区分	材料の名称・規格	符 号	接着体の組合せ		シーリング材の種類			
CO	コンクリート下地	RB	吹付け化粧吸音板	VS	ビニルシート (長尺)	SOP	合成樹脂調合ベイント塗り	UC	ウレタン樹脂ワニス塗り		外装薄塗材 Si	シリカリシン	不燃材料	フレキシブル石綿板	NW-8576	金 属	金 属 コンクリート ガラス 石、タイル 押出成形セメント板	記号	主成分による区分	
MO	モルタル下地	RB-T	溝付吹付け化粧吸音板	PT	Pタイル	CL	クリヤラッカー塗り	U-M	ウレタン樹脂塗料塗り鏡面仕上げ		外装薄塗材 E	アクリルリシン		化粧けい酸カルシウム板	NW-8577			SR-2	シリコーン系	
M金	モルタル金コテ押え	GB-R	せっこうボード	VT	ビニルタイル	FE	フタル酸樹脂エナメル塗り	OS	オイルステイン塗り		可とう形外装薄塗材 E	弾性リシン		けい酸カルシウム板 (タイプ2)	NW-8578			MS-2	変成シリコーン系	
WO	木下地	GB-S	ジージン'せっこうボード	TC	タイルカーペット	NAD	アクリル樹脂系非水分散形塗料塗り	OC	オイルフィニッシュ仕上げ		内装薄塗材 L	ロックウール化粧吸音板			NW-8599			SR-1	シリコーン系	
FF	フリースフロア下地 (既装束製床下地)	GB-D	化粧せっこうボード	V	ビニル巾木	AE	アクリル樹脂エナメル塗り	MP	マステック塗材塗り		内装薄塗材 Si	シリカリシン (内装用)		せっこうボード t=12.5	NW-8619			MS-2	変成シリコーン系	
LGS	軽量鉄骨下地	FB	フレキシブル石膏板	W	木製見切	2-U E	2液形ポリウレタンエナメル塗り	FUC	ふっ素樹脂クリア塗り (コンクリート面)		外装厚塗材 Si	シリカスタッコ		クロス (ビニルクロス 不 燃)	NW-0080			SR-1	シリコーン系	
		SB	けい酸カルシウム板	WM	木製既装巾木 (塗装品)	2-A S E	アクリルシリコン樹脂エナメル塗り	U-B E	1液形ウレタン樹脂焼付け塗り		外装厚塗材 E	アクリルスタッコ	準不燃材料			石	石	外壁断式工法の目地 上記以外の目地	MS-2 PS-2	変成シリコーン系 ポリサルファイド系
防水RC直	防水コテ+直押え (金コテ)	SB化	化粧けい酸カルシウム板	AL-P	アルミパネル	2-F U E	常温乾燥形ふっ素樹脂エナメル塗り	F-B E	ふっ素樹脂焼付け塗り		複層塗材 Si	シリカ吹付タイル		木毛セメント板	QW-9701		打磨目地・誘発目地 ひび割れ	仕上なし 仕上あり	PS-2 PU-2	ポリサルファイド系 ポリウレタン系
RC直	コテ+直押え (金コテ)			SUS	ステンレス	E-P-G	つや有合成樹脂エマルジョンベイント塗り	A-B E	アクリル樹脂焼付け塗り		複層塗材 E	アクリル吹付タイル (凹凸模様)		シージングせっこうボード t=9.5	QW-9826	コテ+直	石、タイル		PS-2	ポリサルファイド系
RC型	コテ+型枠外しのまま	GW	グラスウールボード			S-E P-G	屋内外系塗料塗り (鉄鋼面・亜鉛めっき面)	F L P-1	2液エポキシ樹脂床用塗料塗り		防水形複層塗材 E	複層弾性タイル		せっこうボード t=9.5	QW-9828		押出成形セメント板	仕上なし 仕上あり	MS-2 PU-2	変成シリコーン系 ポリウレタン系
RC化	コテ+化粧打放し補修	GS	花崗岩	C防水	セメント防水	E P	合成樹脂エマルジョンベイント塗り	F L P-2	特殊アクリル樹脂床用塗料塗り					化粧せっこうボード t=9.5	QW-9824		押出成形セメント板	仕上なし 仕上あり	MS-2 PU-2	変成シリコーン系 ポリウレタン系
CB	コンクリートブロック	MS	大理石	U防水	ウレタン防水	E P-M	多彩模様塗料塗り (屋内用)	F L P-3	床用防塵塗料塗り		UE	ポリウレタンエナメル塗り		クロス (ビニルクロス 準不燃)	QW-9606		タイル	タイル		
		TB	テラゾーブロック	S防水	シート防水	E P-T	合成樹脂エマルジョン模様塗料塗り (屋内用)	Z P	溶剤亜鉛めっきの上、りん酸処理		OSCL	オイルステインクリアラッカー					アルミニウム製建具等の工場シール	PS-2	ポリサルファイド系	







1 階 平 面 図 S=1:100



地下ピット平面図 S=1:100

凡 例	
	消火器 B O X (消火器 - 別途)
	誘導標識
	丸環

株式会社 畠中設計

鹿児島市清水町13番22号  
〒892-0802 TEL (099) 247-7575  
一級建築士 登録第145174号  
中村 純一

玉里団地住宅28号棟新築本体工事		
地下ピット, 1階平面図	A1:1/100 A3:1/200	A-15
鹿児島市建設局建築部住宅課		